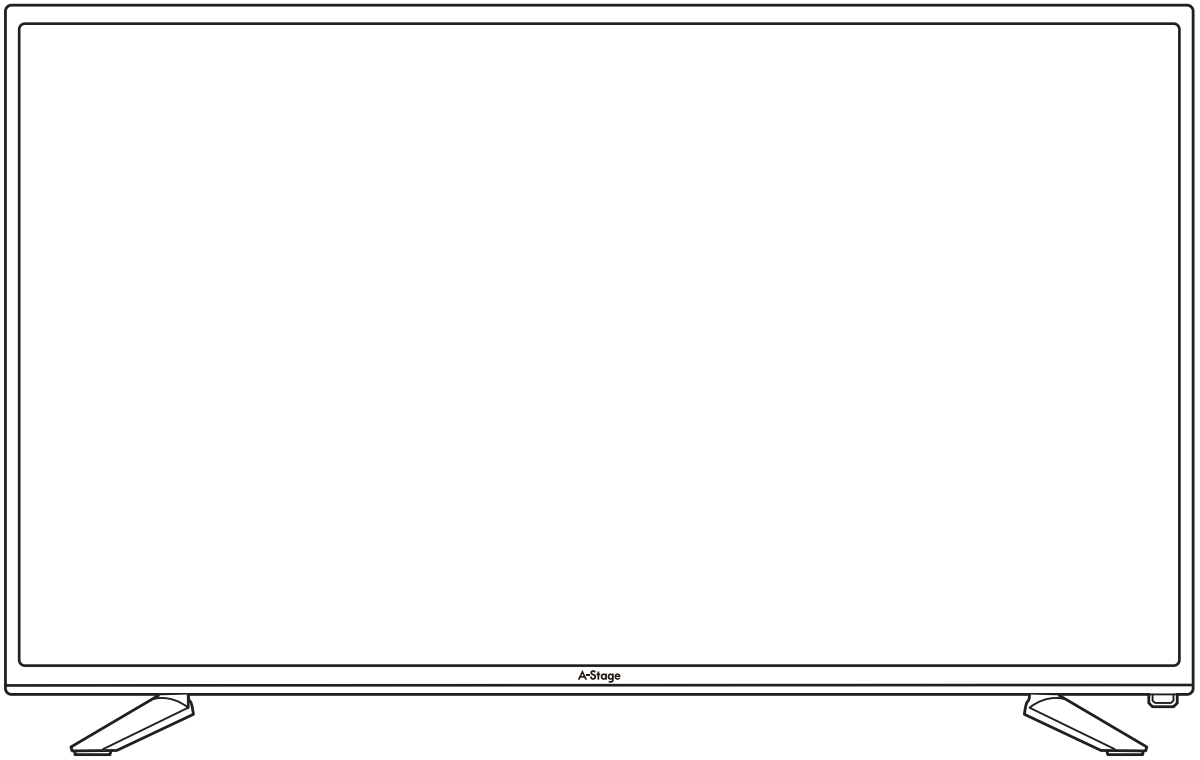
A-Stage

取扱説明書

39V型地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンLED液晶テレビ
外付けUSBハードディスク録画対応

AS-TV39-300



地上デジタル　BSデジタル　110°CSデジタル　ハードディスク録画可能 HDD USB　HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　双方向データ放送対応

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。テレビを安全に正しくお使いください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

家庭用

もくじ（詳細）

ページ

安全上のご注意 ― 3
付属品 ― 6
各部の名称（本体） ― 7
各部の名称（リモコン） ― 8
スタンドの取り付けかた ― 9
mini B-CASカードとカバーの取り付け方 ― 10
アンテナと電源コードの接続
アンテナと本機をつなぐ ― 11
電源プラグをコンセントに接続する ― 11
外部機器との接続 ― 12
初期設定（かんたん設置設定）
１電源を入れる ― 13
２かんたん設置設定 ― 13
３郵便番号設定 ― 13
４都道府県設定 ― 13
５B-ＣＡＳカードテスト ― 14
６初期スキャン ― 14
７アンテナ電源 ― 15
機器設定
ＵＳＢ機器管理 ― 16
録画設定 ― 17
視聴制限設定 ― 17
表示の設定 ― 18
ＨＤＭＩ設定 ― 19
かんたん設置設定（やり直すとき） ― 19
設置設定ー受信対象設定をする ― 19
設置設定ー初期スキャン ― 20
設置設定ー再スキャンをする ― 20
設置設定ーチャンネルを手動で設定する ― 20
設置設定ー地域設定 ― 21
設置設定ー受信設定 ― 21
設置設定ーB-CAS カードの動作を確認する ― 22
システム設定ー設定情報リセット ― 22
システム設定ー放送メール ― 23
システム設定ーB-CAS 情報 ― 23
システム設定ーCS ボード ― 23
システム設定ー放送ダウンロード ― 23
システム設定ーライセンス情報 ― 23
システム設定ールート証明書 ― 23
その他の設定ー文字入力設定 ― 25
その他の設定ー選局対象 ― 25

ページ

機器情報 ― 24
テレビの視聴と設定
電源を入れる ― 25
電源を切る ― 25
チャンネルを替える ― 25
音量を調節する ― 25
消音 ― 25
番組情報を表示する ― 25
番組説明を表示する ― 26
音声を切り換える ― 26
オフタイマーを使う ― 26
字幕を表示する ― 26
放送切換 ― 26
入力切換 ― 27
番組表ボタン ― 27
番組表を更新する ― 27
番組表に表示する内容を変更する ― 27
ジャンルを選んで番組を探す ― 28
ｄデータ ― 28
一時停止 / 静止 ― 28
録画・予約機能
USB ハードディスクの仕様及び注意事項 ― 29
USB ハードディスクの接続と設定 ― 30
見ている番組を録画する ― 30
番組表で録画・予約をする ― 30
番組表で予約する（基本操作） ― 31
毎週予約をする ― 31
自動録画をする ― 31
自動予約を一時的に解除する ― 31
予約の詳細設定を変更する ― 31
日時を指定して予約をする ― 32
予約を確認する ― 32
予約を変更する ― 32
予約を削除する ― 32
動作済みの予約（履歴）を一括で削除する ― 32
録画した番組を再生する
再生の基本操作 ― 33
録画番組の再生中にできるリモコン操作 ― 34
文字を入力する
画面キーボード方式 ― 35
リモコンボタン方式 ― 35

もくじ（詳細）

ページ

インターネットの設定

接続方法 37
IP アドレス設定 37
DNS 設定 37
プロキシサーバー設定 37
接続テストをする 37

映像の設定

画質動作選択 38
バックライト 38
明るさ 38
暗部調整 38
色の濃淡 38
色あい 38
輪郭強調 38
色温度 38
動的コントラスト 38
ノイズ低減 39
MPEG ノイズ低減 39

高度な設定をする

黒伸長 39
ホワイトバランス 39
ガンマ設定 39
シネマ設定 39
調整の初期化 39

ページ

画面の設定

画面の設定 40
オーバースキャン 40
両横ノイズカット 40
垂直位置／大きさ 40
4:3 映像設定 40

音声の設定

音声調整 41
低音 41
高音 41
バランス 41
サラウンド 41
ヘッドホン音量 41
音量自動調整 41
入力音量補正 41
音声同時出力 41
調整の初期化 41

各種設定（メニューの説明） 42
サブメニュー（クイックメニュー） 44
故障かなと思ったら 45
製品仕様 49
アフターサービス 50

安全上のご注意

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- 禁止の行為であることを告げるものです。
- 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
- 注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

⚠警告

	交流100V以外の電源で使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源コードに重いものを載せない 火災・感電の原因となります。
	不安定な場所、振動のある場所、落下の恐れがある場所におかない 落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合も同様の対応が必要です。 ●付属のスタンドをご使用ください。 ●テレビ台を使用する場合は、ぐらつかないものを使用し、テレビ台の端からはみ出さないように設置してください。 ●本機と台の両方を確実に固定できない場合は、背の高い台（食器棚や書棚など）に置かないでください。 ●本機と設置するテレビ台などの間に、布などを敷かない。 ●お子様には、操作するために設置したテレビ台などによじ登ると危険であることをよく説明して教え、テレビ台などによじ登らないように注意してください。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源プラグの端子についた埃などは定期的に取り除く 火災・感電の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因となります。
	水が入るような使い方はしない、水をかけない 火災・感電の原因となります。
	異物を入れない 後ろ側の通風孔などからものを入れると、火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
	テレビの上に花びんなど、液体の入った容器を置かない 液体がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出したら、本機、アンテナ線、電源プラグに触れない 感電の原因となります。
	電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、加熱する、束ねる、はさむなどしない そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	修理、分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があるため火災・感電の原因となります。
	可燃性のものが周囲にあるところへ設置しない カーテン、絨毯、毛布、カバークロス、衣服、新聞紙等の紙、埃などに注意してください。火災・感電の原因になります。

⚠警告

	煙、異臭、異音などの異常、映像や音声が出ないことがある場合、すぐに電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	内部に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	電源プラグは、容易に操作できるようにする 火災・感電の原因になります。

⚠注意

	タコ足配線をしない 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	配線が接続されている状態でテレビを移動させない 配線が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	お手入れや、長期間使用しないときは、電源プラグを外す 火災・感電の原因となることがあります。
	通風孔をふさがない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない コードの皮膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。
	風通しの悪いところや密閉した棚や台などに設置しない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	重いものを上に置いたり、ぶら下がったり、乗ったりしない 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。とくにお子様にはご注意ください。
	液晶画面に衝撃を加えない 液晶画面のパネルが割れ、けがの原因となることがあります。
	酸性・揮発性の強い洗剤・溶剤を使用して掃除しない 本体が溶けることがあります。
	転倒・落下防止の処置をする 転倒・落下によるけがの原因になることがあります。
	湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（加湿器や調理台のそばなど）に置かない 火災・感電の原因になることがあります。
	温度の高い場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。
	移動するときは電源プラグ、アンテナ線、他の機器との接続線、転倒防止金具をはずす はずさないまま移動すると、電源コードや本機が傷つき、火災・感電・けがの原因となることがあります。

安全上のご注意

⚠注意	
	長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 火災･感電の原因になることがあります。
	本体の丸洗いはしない 感電の原因となります。

〈電池についての安全上のご注意〉

⚠ 警告	
	電池は乳幼児の手の届く場所に置かない 電池を飲み込むと、窒息することがあります。 また消化器官内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。飲み込んだときには、ただちに医師に相談してください。
	電池が液漏れしたときは素手でさわらない ・漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ・皮膚に付着した場合は、炎症など傷害を負う可能性があります。 ⇒すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意	
	電池を加熱したり、火の中に投げない、充電しない、火のそばや直射日光の当たるところへ放置しない、ショートさせたりしない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は分解しない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は正しい向きに入れる、極性を間違えない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	指定以外の電池を使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池を使い切ったときや、長時間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

安全上のご注意

知っておいていただきたいこと

電磁波妨害にご注意ください
製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて
静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

直射日光・熱気は避けてください
窓を閉め切った自動車の車内など異常に温度が高くなるところに放置をすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度変化がある部屋（場所）でのご使用は避けてください
急激な温度変化がある部屋（場所）でのご使用は表示品質が低下する場合がありますのでご注意ください。
また結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

長時間ご使用にならない場合
長時間ご使用にならないと機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて作動させてください。

製品本体および付属品廃棄の場合
各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

本体が熱くなる場合があります
長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません
この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

クッションフロアへの設置について
クッションフロアでは直接、接しないようにしてください。キャビネットのゴムがクッションフロアへ色移りするおそれがあります。直接置かず板など間に敷いてください。

コンセントの近くに設置してください
電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた
キャビネットにはプラスチックが多く使用されています。
ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質し、塗料がはげる場合がありますので使用しないでください。

殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。また、ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。
プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げをしてください。

電源・電圧について
指定の電源電圧以外では使わないでください。指定以外の電源電圧を使用した場合は故障の原因となります。

取り扱い上のご注意
液晶パネルを強く押したり、落としたり叩くなどの強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルが割れ、けが、故障の原因となり危険です。
振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。故障の原因となります。

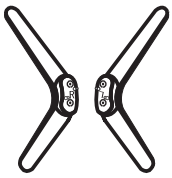
minin B-CASカードの抜き差しについて
地上デジタル放送は著作権保護のため、mini B-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。
mini B-CASカードは必要のない限り、抜かないでください。mini B-CASカードにはI　Cチップが内蔵されていますので、折り曲げたり、衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。mini B-CASカードは正しい向きでしっかりと挿入してください。

アンテナについて
妨害電波受信の影響を避けるため、交通の頻繁な道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

アンテナ線を不必要に長くのばしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になるおそれがあります。

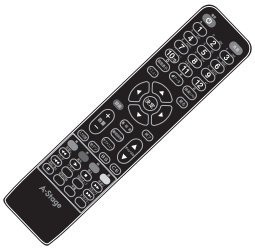
アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧いただけます。
特に煤煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。

付属品

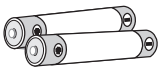


スタンド
(セパレートタイプ)×2

スタンド取り付け用ネジ×4



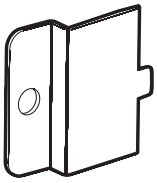
リモコン



単4形乾電池
(リモコン動作確認用)×2

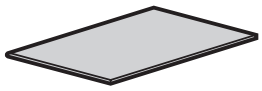
miniB-CASカード

miniB-CASカードカバー
取り付けネジ

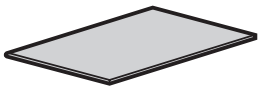


miniB-CASカードカバー

取扱説明書



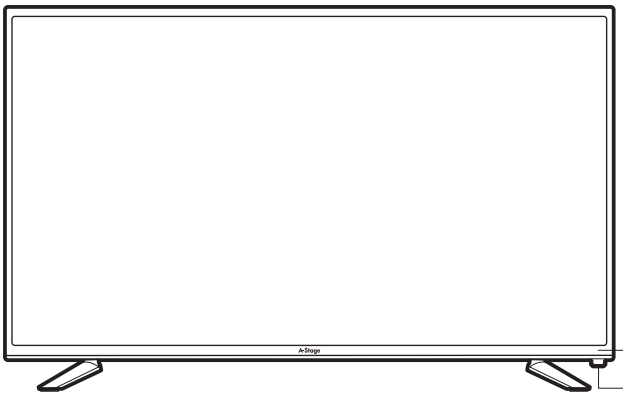
クイックガイド



保証書

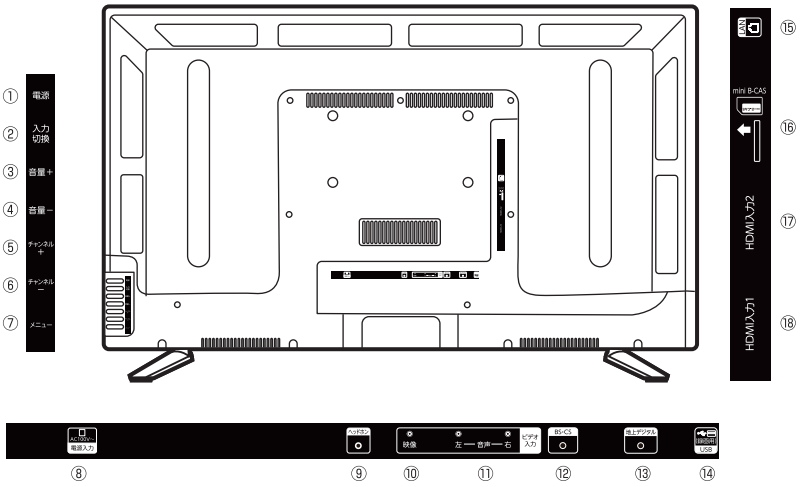
各部の名称（本体）

＜正面＞



赤	点灯	電源オフ(待機中)
緑	点灯	電源オン
オレンジ	点灯	録画中

＜背面＞



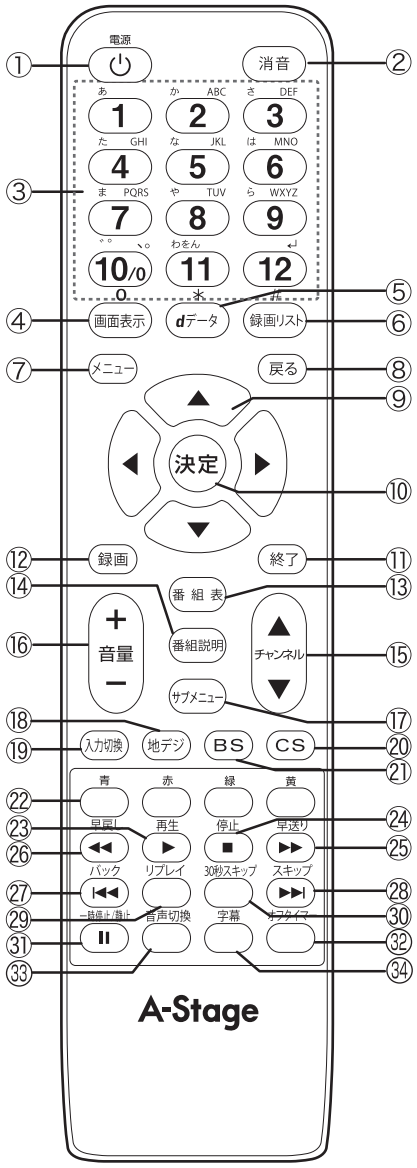
① 電源ボタン
② 入力切換ボタン
③ 音声＋ボタン
④ 音声―ボタン
⑤ チャンネル＋ボタン
⑥ チャンネルーボタン
⑦ メニューボタン
⑧ 電源プラグ
⑨ ヘッドホン端子
⑩ ビデオ映像入力端子
⑪ ビデオ音声（左右）入力端子
⑫ BS•110CS度放送アンテナ入力端子
⑬ 地上デジタル放送アンテナ入力端子
⑭ USB端子（録画用）
＊⑮ LAN端子
⑯ miniB-CASスロット
⑰ HDMI入力端子2
⑱ HDMI入力端子1

ヘッドホンを使用するときには

・テレビ背面にある「ヘッドホン端子」へ直径 3.5mm ステレオミニプラグを挿入してください。
・デフォルト設定でヘッドホン端子を使用している場合、
テレビ本体のスピーカーから音声は出力されません。
・ヘッドホンの音量は、本体やリモコンにある「音量」ボタンで調節できます。

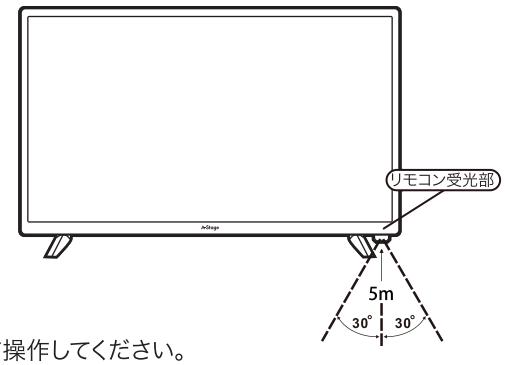
＊LAN端子：
ローカルエリアネットの略称。
デジタル放送の双方向通信で
使用します。

各部名称（リモコン）



① 電源ボタン
② 消音ボタン
③ 数字ボタン
④ 画面表示ボタン
⑤ dデータボタン
⑥ 録画リストボタン
⑦ メニューボタン
⑧ 戻るボタン
⑨ 矢印ボタン
⑩ 決定ボタン
⑪ 終了ボタン
⑫ 録画ボタン
⑬ 番組表ボタン
⑭ 番組説明ボタン
⑮ チャンネルボタン
⑯ 音量ボタン
⑰ サブメニューボタン
⑱ 地デジボタン
⑲ 入力切換ボタン
⑳ CSボタン
㉑ BSボタン
㉒ カラーボタン
㉓ 再生 ボタン
㉔ 停止ボタン
㉕ 早送りボタン
㉖ 早戻しボタン
㉗ バックボタン
㉘ スキップボタン
㉙ リプレイボタン
㉚ 30 秒スキップボタン
㉛ 一時停止 / 静止ボタン
㉜ オフタイマーボタン
㉝ 音声切換ボタン
㉞ 字幕ボタン

[リモコン操作]

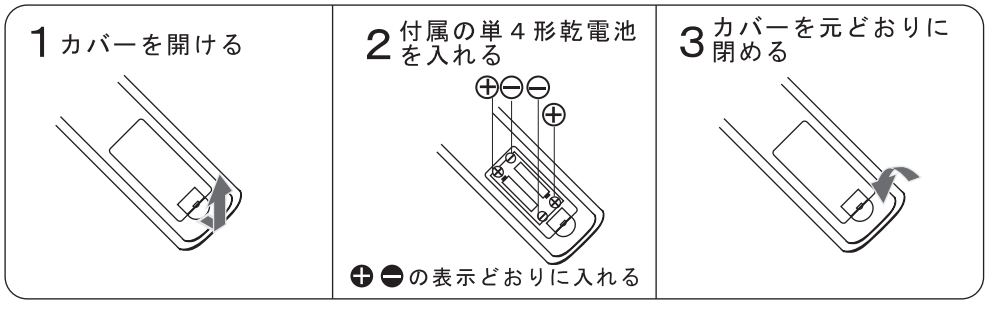


リモコン受光部へ向けて操作してください。
距離：5m 以内
左右角度：30°以内
上下角度：15°以内
上記の範囲内で操作してください。
製品に近すぎるとリモコンの反応が
悪くなります。
※操作範囲が狭まった場合は電池の消耗か考えられます。
できるだけ早めに電池を交換してください。

リモコンに乾電池を入れる

1. 指で矢印部分にあるツメを押さえながら、上へ電池カバーを持ち上げてください。
2. 単4形乾電池のプラス（十）とマイナス（ー）を間違えないように入れてください。
3. 指で押さえるツメと反対側にある電池カバーを留めるツメを、リモコン本体側に引つ掛けるようにして元どおりに閉めてください。

乾電池の入れ方



※ 付属している単4形乾電池2本は動作確認用です。
使用になる場合は新しい乾電池をご用意ください。
※不要となった電池は、お住まいの市区町村の指示に従って対処してください。電極にはテープを貼り、絶縁してください。

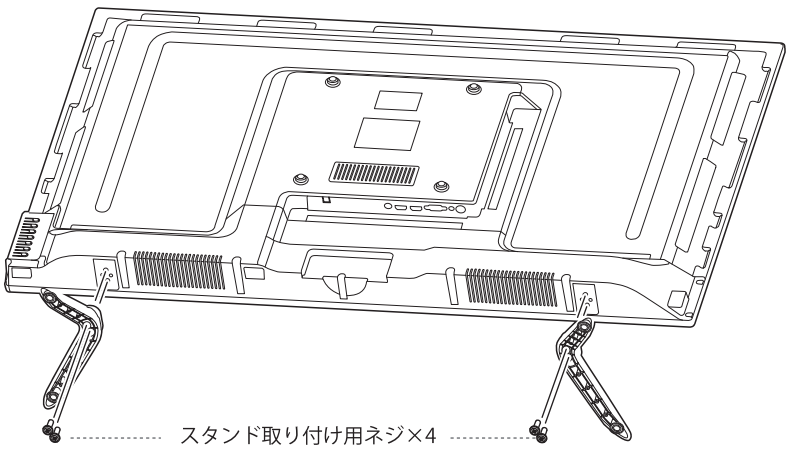
スタンドの取り付けかた

①スタンド上部の凸部分2箇所を本体底面の
取り付け部分にはめ込みます。

② 本体底面から「スタンド取り付け用ネジ」で
しっかり固定します。

※左右とも取付方法は同様です。

※左右のスタンド誤取り付け防止のため、
凸部分の位置を変えています。



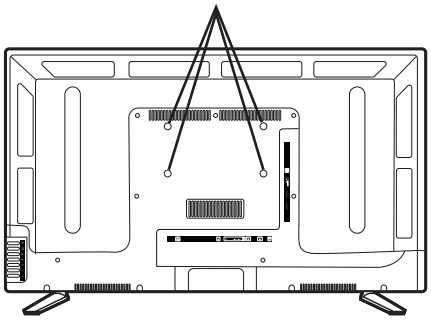
※組み立て設置上の留意点:

●スタンドを安全に正しく取り付けるために､マニュアルに従って､プラスドライバーを使用してください。
●スタンド を取り付けるとき、ネジ穴の緩みや破損などを防ぐため、電動ドライバーなどは使用しないでください。
●液晶画面を傷つけないように、タオルや布などをひいて、組み立てしてください。

壁掛けでご使用する場合

・本機は市販の壁掛け金具を使って、壁掛け設置することが可能です。
・落下事故などの危険を防ぐため、必ずお買い上げの販売店か専門業者に施工を依頼してください。
・本機背面の壁掛け金具取り付け寸法に合わせた壁掛け金具をご使用ください

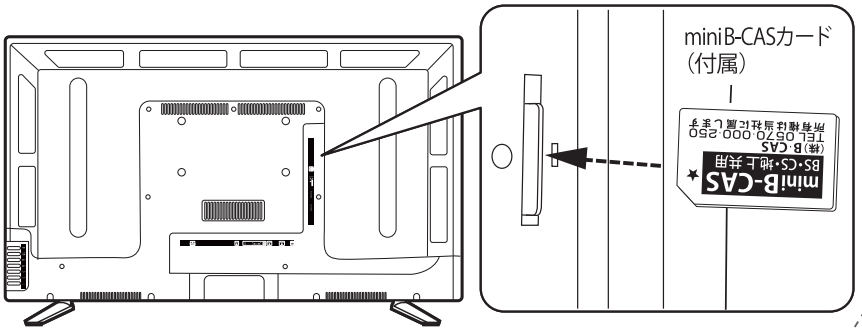
壁掛け金具取り付け用ネジ穴



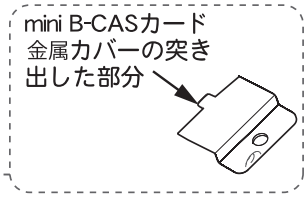
壁掛け金具取り付け寸法： 200mm×100mm
本 体 固 定 用 ネ ジ： （上側）M5×有効深さ9mm
（下側）M5×有効深さ7mm

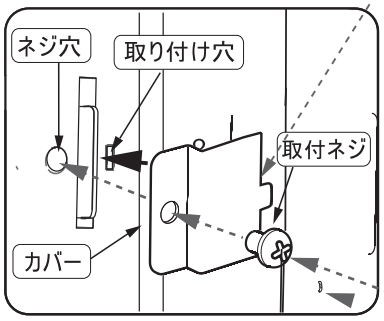
※使用する金具の厚みを考慮して、ネジ長さを選定してください。

mini B-CAS カードとカバーの取り付け方



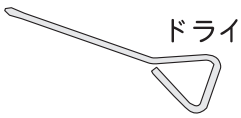
1 mini B-CASカード（付属品）を図のように差し込みます。





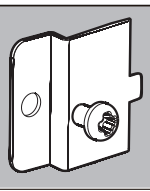
2 mini B-CASカードカバー（付属品）の突き出た部分をmini B-CASカードスロット側の取り付け穴に差し込み、mini B-CASカードカバー取付ネジ（付属品）をスロットのネジ穴に重ねます。

注意：mini B-CASカードカバー取付ネジは付属品のネジの一番短いものです。



3 ドライバー（別売）でネジを締めます。

注意



幼児がmini B-CASカードを誤って飲み込み窒息するのを防ぐ為、テレビ設置時、mini B-CASカードカバーをテレビ背面端子部のmini B-CASカードスロットに取り付け、mini B-CASカードカバー取付ネジで締めて下さい。カードの紛失、盗難のリスクも低減できます。

ご注意： mini B-CAS カードの挿入は上図をご確認頂き、お間違えのないようご注意ください。

mini B-CASカード使用注意事項

- ■ 破損させないでください。
- ■ 金属端子部分には手を触れないでください。
- ■ 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- ■ 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ■ デジタル放送を視聴中にmini B-CAS カードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。

mini B-CASカードについて

※地上デジタル放送を視聴するために本製品に付属されている mini B-CAS カードをご使用ください。
※mini B-CASカードは本製品の付属品として、使用許諾契約約款が記載された台紙に貼付されています。

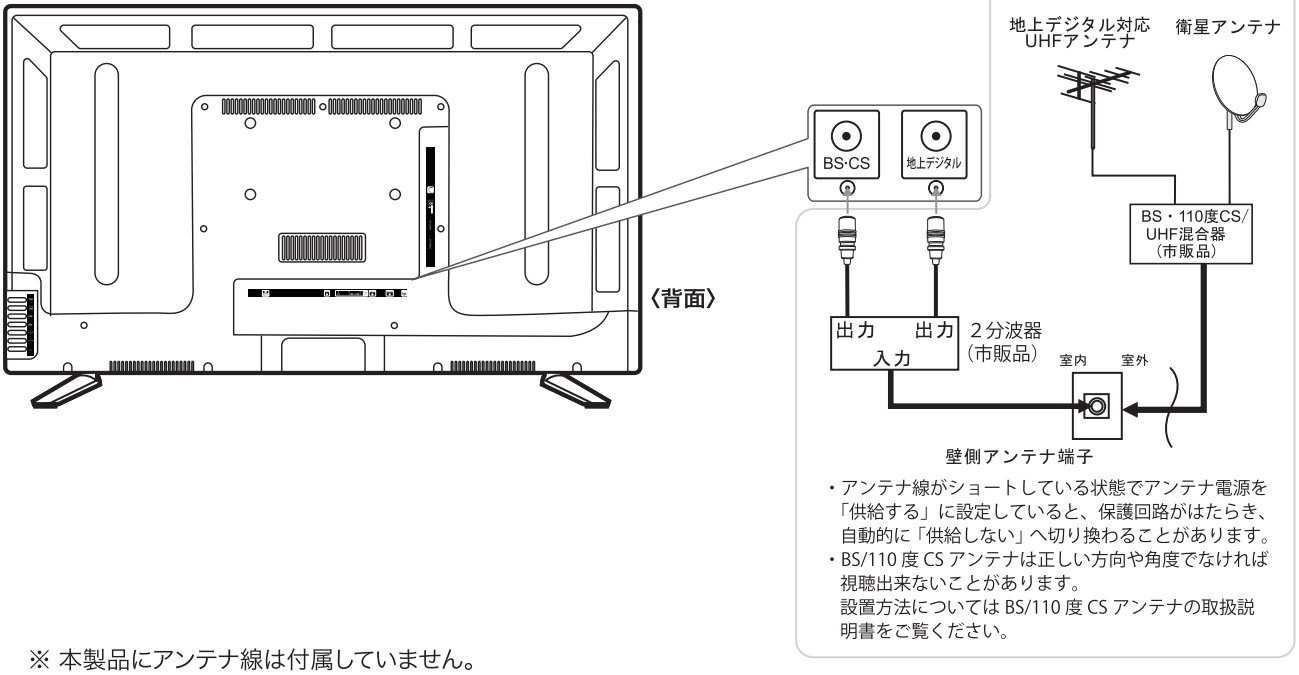
- ● mini B-CASカードの所有権は (株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- ● 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- ● mini B-CASカードの保証期間は、本製品のお客様へのお引き渡し完了日から３年間です。
  詳しくは、mini B-CASカード使用許諾契約約款をご覧ください。
- ● 保証期間後にmini B-CASカードを交換する場合は、カード発行費用がかかります。
- ● mini B-CASカードの ID ナンバーは、画面上で確認できます。
- ● mini B-CASカードを損壊、紛失した場合、B-CAS カスタマーセンターまでご連絡ください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CAS カスタマーセンター TEL：0570-000-250

アンテナと電源コードの接続

アンテナと本機をつなぐ

アンテナ線で壁などのアンテナ端子と本製品の地上デジタル放送アンテナ入力端子を接続します。
※アンテナ線はゆるまない程度に手で締めつけてください。
　工具などを使って締めつけすぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。

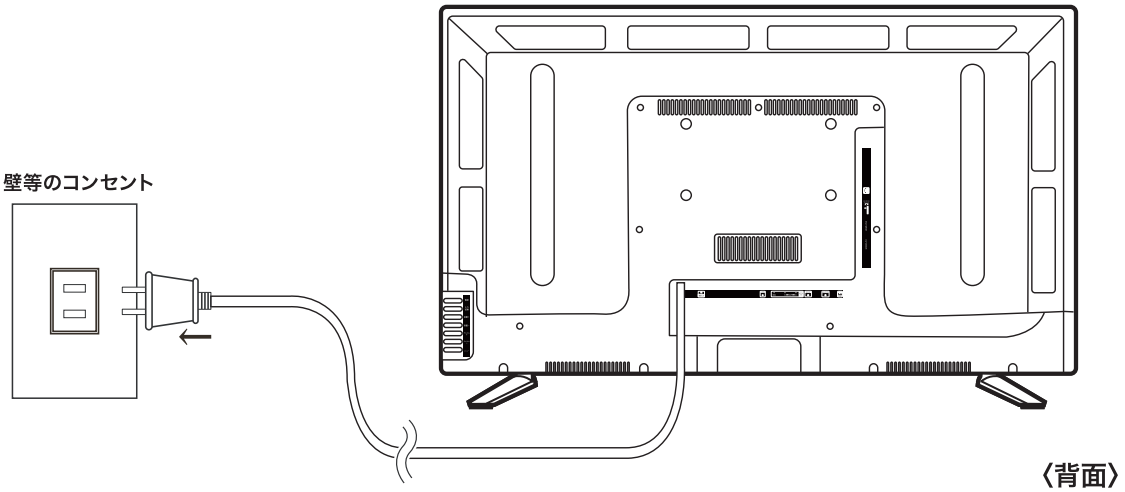


・アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「供給する」に設定していると、保護回路がはたらき、自動的に「供給しない」へ切り換わることがあります。
・BS/110 度 CS アンテナは正しい方向や角度でなければ視聴出来ないことがあります。
設置方法については BS/110 度 CS アンテナの取扱説明書をご覧ください。

※ 本製品にアンテナ線は付属していません。
※ 上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。
※ 地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。

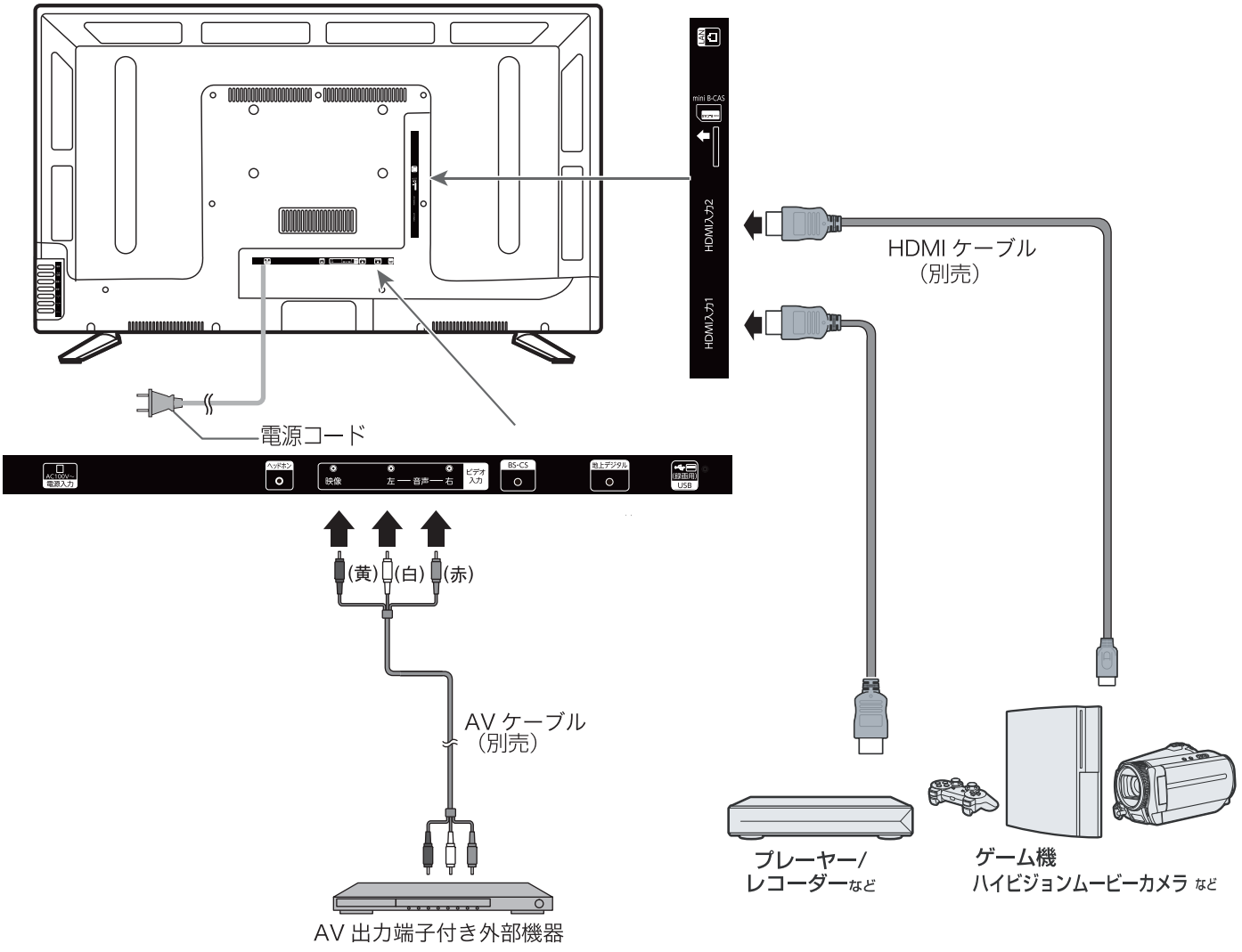
電源プラグをコンセントに接続する

電源コードの先端のプラグをコンセントに差し込みます。本体の電源ランプが赤色に点灯しますので本体背面下部にある 電源ボタン、もしくはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。



※ 上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。
※ リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。
※ 電源を入れてから画面が映るまでに数＋秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

外部機器との接続



接続時のご注意

ビデオ（AV ケーブル）で接続する

■ 対応している画像の大きさなど（レゾリューション）は「480i」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

HDMI ケーブルで接続する

■ HDMI 端子付き機器との接続は、HDMI 認証済みのケーブルをご利用ください。

■ HDMI 端子付き機器との相性により音声が出ない場合があります。

■ 機器間のリンク機能には対応しておりません。

USB ハードディスクを接続する

■ 「USBハードディスクの仕様及び注意事項」をよくお読みになってから接続・使用してください。

■ 「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら、メニューから各設定を行ってください。

■ 取り外す場合には、外部機器が録画や再生などで使用されていないことを必ず確認してから取り外してください。

初期設定（かんたん設置設定）

■開封後、初めて電源を入れた時、画面は自動的に地上デジタルのかんたん設置設定画面が表示されます。

〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

1 電源を入れる

コンセントに電源プラグを差し込むと、本体の電源ランプが赤色に点灯します。本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。（本体の電源ランプが青色に点灯します）

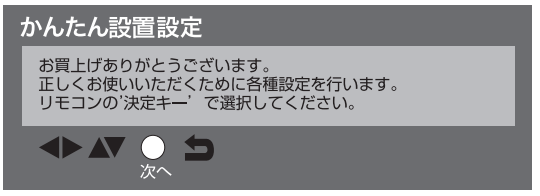
※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

2 かんたん設置設定

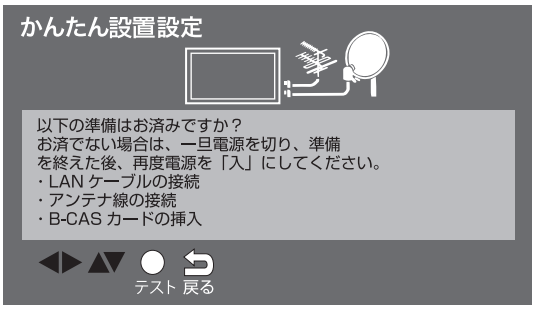
初期設定がはじまります。

「右図」が表示されましたら【決定】ボタンを押してください。

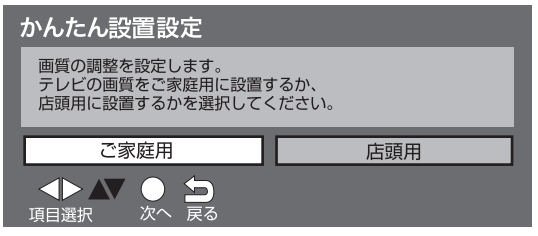
※メインメニューの「かんたん設置設定」を行うことでも再設定できます。



以下の準備の確認をしてください。
準備を終えていない場合は【戻る】ボタンを押して
電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いた後
以下の準備をしてください。
準備がお済の場合は【決定】ボタンを押してください。
・LAN ケーブルの接続
・アンテナ線の接続
・mini B-CAS カードの挿入



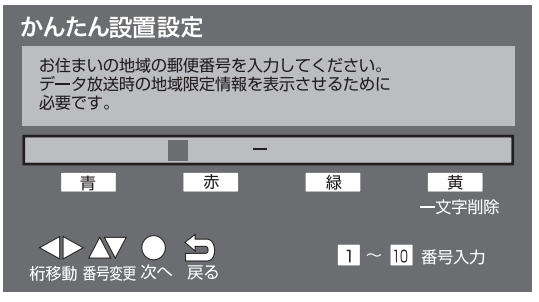
つぎの項目は選択は「ご家庭用」で【決定】ボタン
を押してください。
※「店頭用」は販売店向けの仕様です。
一般的には使用しません。
※本製品は一般家庭用です。



---

3 郵便番号設定

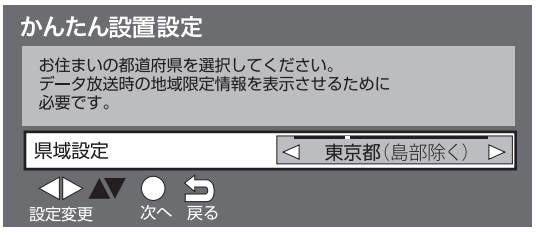
郵便番号を設定します。【数字】ボタンで郵便番号を入力してください。入力後に【決定】ボタンを押してください。



---

4 都道府県設定

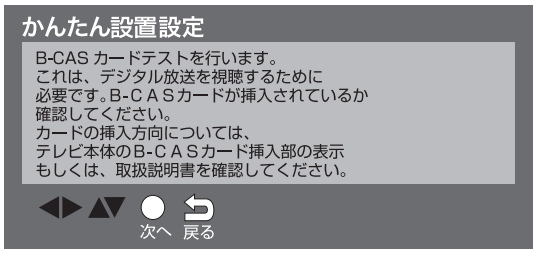
お住まいの都道府県を【◁▷方向】ボタンで選び、【決定】ボタンを押してください。



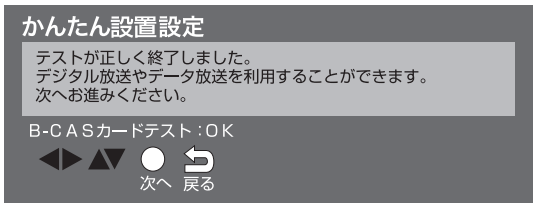
初期設定（かんたん設置設定）

5 B-CASカードテスト

B-CASカードのテストを行います。
挿入が完了していましたら【決定】ボタンを
押してください。
※挿入方法は本書のP10をご覧ください。

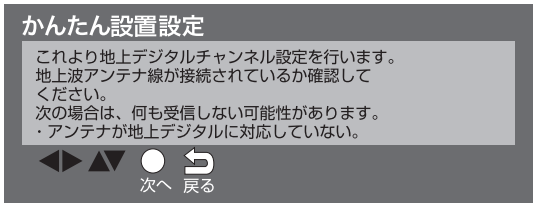


「B-CASカードテスト：OK」と表示されましたら
【決定】ボタンを押してつぎへお進みください。

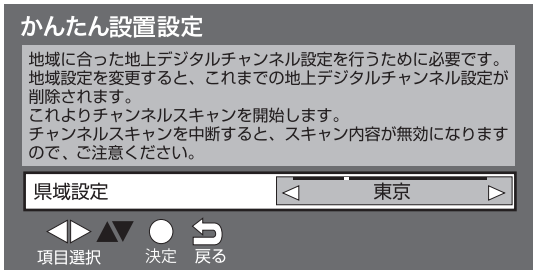


6 初期スキャン

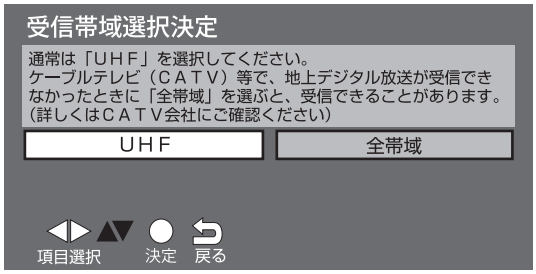
初期チャンネルスキャンを開始します。
地上波アンテナが正しく設置され、テレビ背面の
端子に正しく接続されていることを確認してください。
確認できましたら【決定】ボタンを押してください。
※接続方法は本書の P11をご覧ください。



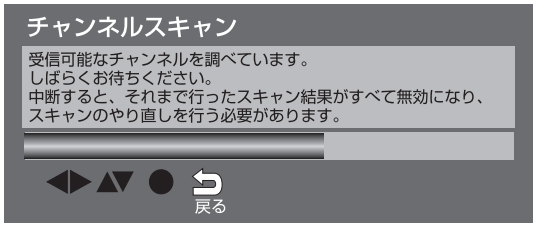
再度、地域の確認をしてください。
【決定】を押すとチャンネルスキャンが開始されます。



受信帯を選択します。
通常は「UHF」を選択して【決定】ボタンを押して
ください。
ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送
が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信
できることがあります。
※詳しくはCATV会社にご確認ください。



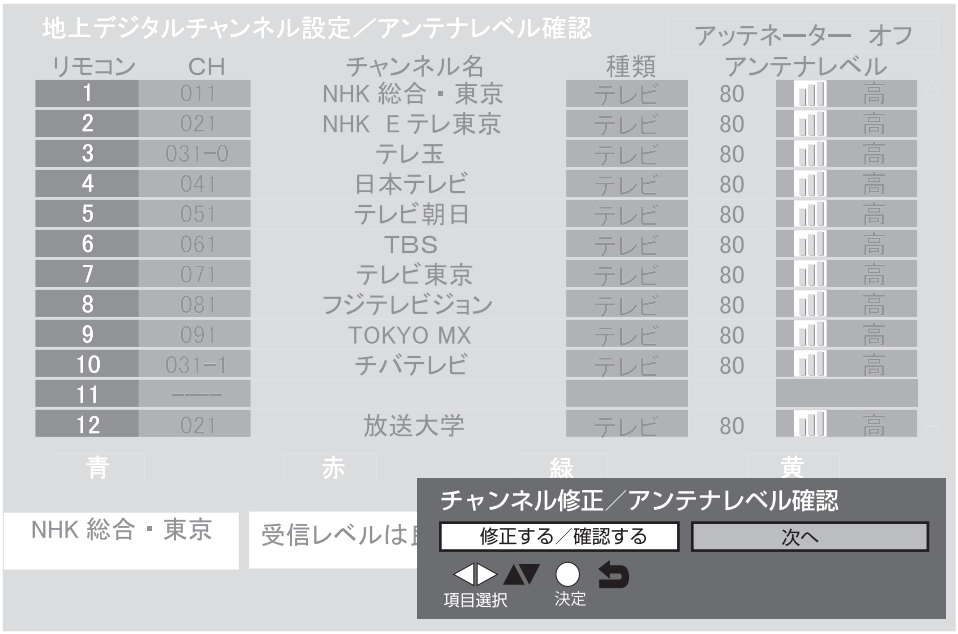
チャンネルスキャンが開始されます。
お住まいの地域の地上デジタルチャンネルを受信します。
完了するまでしばらくお待ちください。



初期設定（かんたん設置設定）

6 初期スキャン（つづき）

チャンネルスキャンが完了しますとつぎの表示になります。
リモコンの１～１２までにチャンネル名等がうすく表示されます。内容を確認後、「次へ」で【決定】を押します。
※「項目選択」で「修正する／確認する」を選択するとうすく表示された部分がはっきり表示され各チャンネルの受信状況が確認できます。

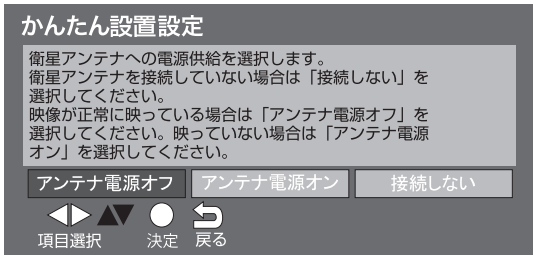


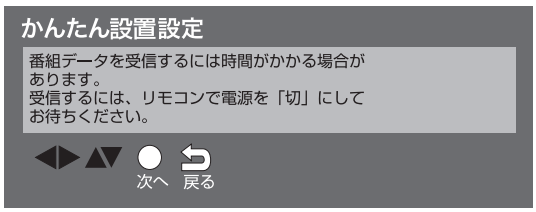
7 アンテナ電源

衛星アンテナへの電源供給を選択します。
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択してください。
映像が正常に映っている場合は「アンテナ電源オフ」を選択してください。映っていない場合は「アンテナ電源オン」を選択してください。
選択が終わりましたら【決定】ボタンを押してください。

次の設定はすでに受信は完了していますのでここでは特に必要ありませんので【決定】ボタンを押して下さい。

かんたん設置設定はこれで終わりです。
【決定】ボタンを押すとかんたん設置設定画面が閉じ、受信したテレビ放送の番組が表示されます。
視聴したい放送の種類(地デジ/BS/CS)、チャンネルを選んでください。





■ 設定を完了しても何も映らないときは・・・

アンテナと本機との接続が正しくない可能性があります。以下をご確認のうえ再度設定をお確かめください。

①地上デジタル放送の受信方法はどちらですか？

屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応の UHF アンテナもしくは VHF/UHF の混合アンテナになっているかご確認ください。詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

ケーブルテレビの場合

ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかご確認ください。伝送方式が不明な場合はご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

②地上デジタル放送の受信強度は 50 以上ですか？（受信強度の確認方法は【サブメニュー】の「アンテナレベル」で確認してください。

50 未満の場合

電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買い上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。

機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

ＵＳＢ機器管理

※ 注意：USB ハードディスクを録画用に登録すると USB ハード ディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。

● 録画用に登録していない USB ハードディスクを接続したとき：USB ハードディスクを接続したときに、登録のメッセージが表示された場合は、表示に従って登録・設定をしてください。
● 接続している USB ハードディスクを録画用に登録するとき：以下の手順で本機に登録します。

1.「ＵＳＢ機器管理」を選択して【決定】ボタンを押します。
USB 機器一覧が表示されます。
●モードについて USB 機器一覧の「モード」には、USB ハードディスクの登録モードが表示されます。

登録 [録画用]：録画、再生用に登録されています。
このモードの USB ハードディスクに録画することができます。
登録：録画番組の再生用に登録されています。
この USB ハードディスクに録画することはできません。
未登録：登録されていない USB ハードディスクです。
録画用に登録すると、それまで「登録 [録画用]」として登録されていた USB ハードディスクのモードは、「登録」に変わります。

2. 未登録の USB ハードディスクを選択して【決定】を押します。

3. 画面に表示される内容に従って録画用に登録します。

USB ハードディスクの詳細情報を見る
●登録済または接続している USB ハードディスクの詳細情報を確認することができます。
・USB 機器一覧で詳細情報を確認する USB ハードディスクを選択して【赤】ボタンを押します。
●詳細情報が表示されます。

USB ハードディスクの表示名を変更する
●USB ハードディスクの表示名を変更することができます。
・USB 機器一覧で表示名を変更する USB ハードディスクを選択して【緑】ボタンを押します。
●文字入力画面が表示されます。表示名を入力して、【決定】ボタンを押します。
※（スペース）だけの名称は登録できません。
※録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

USB ハードディスクを再登録する
●USB ハードディスクを再登録すると、録画用として使用できます。
●正常に使用できなくなった USB ハードディスクを再登録すると、使用できるようになる場合があります。
重要：再登録をすると、USB ハードディスクは初期化され、録画内容はすべて消去されます。

・USB 機器一覧で再登録する USB ハードディスクを選択して【決定】ボタンを押します。
● 録画用として再登録されます。

USB ハードディスクの登録を削除する
●登録されている USB ハードディスクが、8 台を越えるとき は、使用しなくなった USB ハードディスクの登録を削除します。登録を削除された USB ハードディスクは、未登録の USB ハードディスクになります。
・USB 機器一覧で登録を削除する USB ハードディスクを選択して【黄】ボタンを押します。

USB ハードディスクを取りはずす
●USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
・USB 機器一覧で取りはずす USB ハードディスクを選択して【青】ボタンを押します。
※本機の電源が「切」のときは、いつでも USB ハードディスクを取りはずすこともできます。

機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

録画設定

※USB ハードディスクで録画、再生するための基本的な設定をします。

「録画設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

■録画ボタンの設定をする

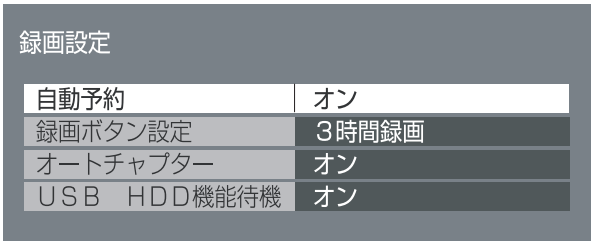
●録画ボタンで録画するとき、録画を終了する時間の設定をします。

1.「録画ボタン設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

2.「番組終了」または「3時間録画」を選び【決定】ボタンを押します。

•番組終了：録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、その番組が終了すると、自動で録画を停止します。

•3 時間録画：録画ボタンを押して、見ている番組の録画を開始したとき、3 時間が経過すると、自動で録画を停止します。



■オートチャプターの設定をする

●番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けるための設定をします。

1.「オートチャプター」を選択して【決定】ボタンを押します。

2.「オートチャプター」で「オン」または「オフ」を選び、【決定】ボタンを押します。

•オン：番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けます。（お買い上げ時の設定）

•オフ：自動でチャプターマークは付けません。

■USB ハードディスクが動作していないときに休止状態にする

●本機に接続している USB ハードディスクが動作していないとき、休止状態にします。
「ＵＳＢ HDD 待機」を選択して押して【決定】ボタンを押し「オン」または「オフ」を選択します。

•オン：休止状態にしません。

•オフ：USB ハードディスクがしばらく動作していないとき、休止状態にします。

●「オフ」にすると、USB ハードディスクの消費電力は低減しますが、録画、再生など、動作開始の準備にかかる時間が長くなります。

●「オン」に切り換えたときは、再生や録画の操作を行うと設定が有効になります。
または、電源を入れ直すと有効になります。

※USB ハードディスクによっては、「USB　HDD 待機」を「オン」に設定していても、USB ハードディスク側の省エネ機能によって休止状態になる場合があります。

視聴制限設定

※暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。
暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定情報のリセット」をするときにも暗証番号の入力 が必要になります。
暗証番号を設定しましたら、忘れない様にメモ取る等大切に保管してください。

重要：万が一、暗証番号を忘れた場合は、「サポートセンター」にご連絡ください。
必要でない場合は登録しないことをおすすめします。

■暗証番号を設定する

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

2. 登録したい暗証番号 4 桁を【1】～【10/0】ボタンで入力する

● 間違えて入力した場合は、【戻る】ボタンを押して、もう一度入力し直します。

● 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

3.【1】～【10/0】ボタンでもう一度同じ 4 桁の暗証番号を入力します。

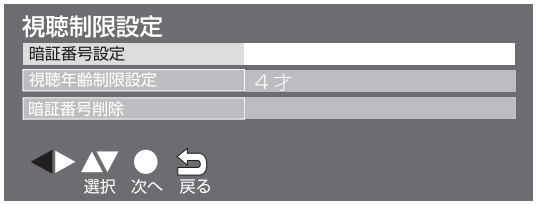
機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

視聴制限設定（つづき）

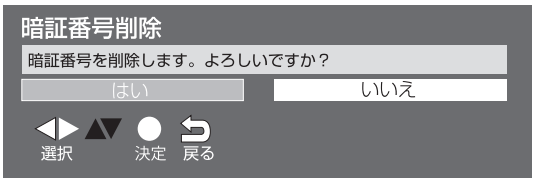
■暗証番号を変更する

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録した暗証番号４桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3.「暗証番号設定」に【1】～【10/0】ボタンで新しい暗証番号を入力します。
4. 入力した暗証番号を、もう一度入力します。



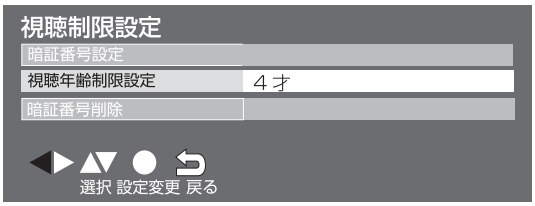
■暗証番号を削除する

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録した暗証番号４桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3.「暗証番号削除」を選択し【決定】ボタンを押します。
4.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。



■視聴できる番組を制限する

1.「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 登録した暗証番号４桁を【1】～【10/0】ボタンで入力します。
3.「視聴年齢制限設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
※制限できる年齢は、「４才」～「19才」と「無制限」です。
（お買い上げ時は、「４才」に設定されています）
4. 制限の項目を選択して決定】ボタンを押します。



表示の設定

■字幕のを設定をする

1.「表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
●字幕や文字スーパーの設定をします。
●デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
2.「字幕の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「字幕 」、「字幕言語 」、「文字 スーパー」、「文字スーパー言語」それぞれの項目の設定をします。
4. 設定が終了したら【決定】ボタンを押します。
• 字幕：字幕を表示させるときは「オン」を選択します。表示させないときは「オフ」を選択します。
• 字幕言語：字幕に表示する言語を「日本語」または「英語」から選択します。
• 文字スーパー：文字スーパーを表示させるときは「オン」を選択します。表示させな いときは「オフ」を選択します。
• 文字スーパー言語：文字スーパーに表示する言語を「日本語」または「英語」から選択します。
設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

■外部入力の機器の設定をする

●入力切換をしたときに表示される機器の名称（ブルーレイ、DVD など）を変更することができます。
1.「入力表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 機器を接続した入力端子（HDMI1、2、ビデオ）を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 機器に合わせた表示を選択して【決定】ボタンを押します。

■タイトル表示

●チャンネルを切り換えたときの、番組タイトル表示のオン / オフです。
1.「タイトル表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」「オフ」を選択します。

■時計表示

● 時計（現在時刻）表示のオン / オフです。
1.「時計表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」「オフ」を選択します。

機器設定

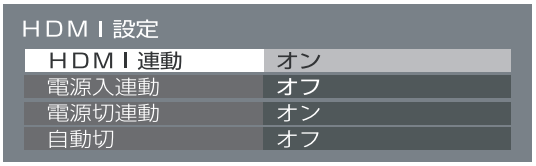
①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

HDMI設定

●本製品のHDMI連動機能は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
●本製品とHDMI連動機能対応のレコーダーやパソコンなどの機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
※動作につきましては接続機器により機能しない場合があります。
また、HDMI連動機能で生じた接続機器の不具合、故障等はいかなる場合でも保証の対象となります。
●HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
•接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
•すべての接続機器の動作を確認してください。
※機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

■本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

1.「HDMI設定」を選択して【決定】ボタンを押します。



■HDMI連動

●本製品のリモコンでのHDMI連動操作、レコーダーの録画、予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

■電源入連動

●連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になる機能です。

■電源切連動

●本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。
（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります）

■自動切

●使用していない連動機器の電源を個別に「切」にする機能です。
入力を切り換えて使用が終了した機器の電源を、個別に「切」にします。
※HDMI連動機能のレコーダーに対応しています。
その他のHDMI連動機器の場合は、機器によって対応していない場合があります。

かんたん設置設定（やり直すとき）

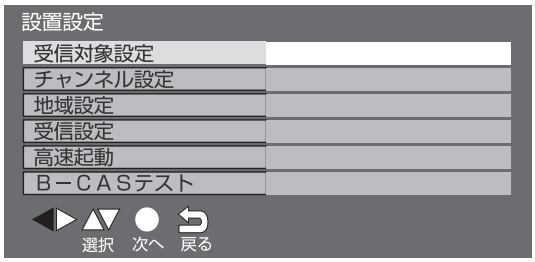
●「かんたん設置設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとでもう一度「かんたん設置設定」をやりなおしてください。
※P13を参照ください。

設置設定

■受信対象設定をする

1.「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「受信対象設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

● BS・110度CS用アンテナに電源を供給するときは、「使う」に設定します。
● 他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「使わない」に設定します。



機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

設置設定（つづき）

■チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

■初期スキャン

●地上デジタルチャンネルを自動で設定する

1.「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「チャンネル設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「地上デジタル」を選択して【決定】ボタンを押します。

・地上デジタル放送には以下の２種類のチャンネル自動設定機能があります。
・初期スキャン：「かんたん設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
・再スキャン：放送局がふえたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンはできません。

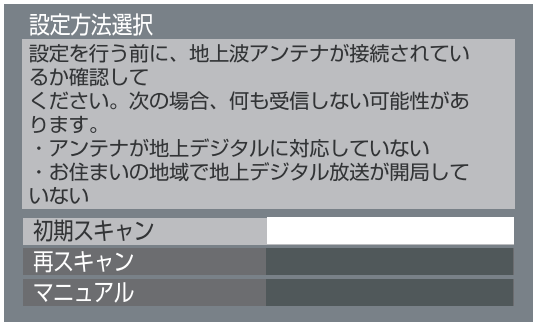
4.「初期スキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。
5.「地域選択」を選択し【決定】ボタンを押します。
6. お住まいの地域を選択して【決定】ボタンを押します。

※地上デジタル放送のチャンネル設定をするには、お住まいの地域の設定が必要です。

7.「次へ」を選択して【決定】ボタンを押します。
8.「UHF」または「全体域」を選択して【決定】ボタンを押します。

※通常は「UHF」を選択します。
※「全体域」を選ぶと、UHF、C13~C63 の帯域をスキャンします。

9.【決定】ボタンを押します。



●初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
●スキャン中は、映像が乱れることがあります。
●初期スキャンを行うと、それまでのチャンネル設定の内容がすべて上書きされます。
●放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「アッテネーター」（ P21 参照）を「オン」に設定してから、初期スキャンをやり直します。

10. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

■再スキャンをする

●新たに放送局が開局してチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1.「再スキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。
●再スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
●再スキャンが終了すると、新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
2. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

■チャンネルを手動で設定する

●手動（マニュアル）で、リモコンの【数字】ボタン（1 ～ 12）で選局するチャンネルを変更したり、空いている【数字】ボタンに設定を追加したりすることができます。
●はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「マニュアル」はできません。

■地上デジタル放送のとき

1.「マニュアル」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選択し【決定】ボタンを押します。
3.「CH」のチャンネル番号を変更します。
4. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

機器設定

①【メニュー】ボタンを押し、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

設置設定（つづき）

■BS・110 度 CS デジタル放送のとき

●BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルは、お買い上げ時に設定されています。リモコンの【数字】ボタンへの割り当てを変更するときに、以下の操作をします。

1.「BS」または「CS」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 修正したい行（リモコンの【数字】ボタン）を選び、【決定】ボタンを押します。
3.「CH」のチャンネル番号を変更します。
4. 設定内容を確認したら、【戻る】ボタンを押して終了します。

■チャンネルを入れ替えたいとき

1.「地上デジタル放送のとき」「BS・110 度 CS デ ジタル放送のとき」を参照して「チャンネル設定」画面を表示させ【緑】ボタンを押します。
2. 入れ換えたい行を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 入れ換え先の行を選択して【決定】ボタンを押します。
4. 行の入れ換えが終了したら、【戻る】ボタンを押します。

■地域設定

■お住まいの地域と郵便番号を設定する

● お住まいの地域に応じたデータ放送を視聴するための設定です。
●「かんたん設置設定」で設定した状態から変更したいときに、以下の操作をします。
1.「地域設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「県域設定」を選択して、お住まいの地域を設定します。
※伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んで ください。
※南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。
3.「郵便番号」を選択して、郵便番号を入力します。
※リモコンの【1】～【10/0】ボタンを使って入力します。
● 間違えて入力したときは、【黄】ボタンを押します。
4. 設定が終了したら、【戻る】ボタンを押します。

■受信設定

■地上デジタル放送用アンテナの場合

1.「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「地上」を選択して【決定】ボタンを押します。
●「地上デジタル受信設定」画面が表示されます。
3. 必要に応じて、「アッテネーター」を設定します。
※「アッテネーター」とは・・・
地上デジタルは受信強度が強すぎても受信できなくなる場合があります。アッテネーターは、テレビやチューナーの地上デジタルを受信した電波を弱める働きをします。信号を適切な信号レベルに減衰させるものです。受信レベルの数値が受信良好のレベルに十分達しているときに画面にブロックノイズなどが入る場合は、受信環境に原因がある可能性があります。この場合、アッテネーター を「オン」にしてください。
改善される場合があります。　※通常は「オフ」にしてください。
4. アンテナ（受信）レベルを確認する
※受信の目安は 50 以上です。
5.「物理チャンネル」を選択して【決定】ボタンを押します。
6. チャンネルを選択して【決定】ボタンを押します。
7. アンテナの向きを調整して、「受信レベル」を最大値にします。
※ 高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については販売店にご相談ください。

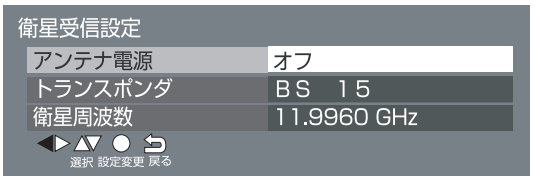
機器設定

①【メニュー】ボタンを押して、「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

設置設定（つづき）

■BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナの場合

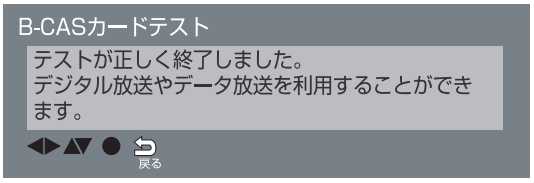
1.「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「衛星」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「アンテナ電源」を選択して【決定】ボタンを押します。
●BS・110 度 CS 用アンテナに電源を供給するとき は、「オン」に設定します。
●他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「オフ」に設定します。
※「トランスポンダ」、「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなる場合があります。
放送局などから案内が無い限り、変更しないでください。
※「トランスポンダ」は「現在の受信中チャンネル」のことです。
4. アンテナ（受信）レベルを確認します。
※受信の目安は 50 以上です。
5. アンテナの向きを調整して、「受信レベル」を最大値にします。
※ 高所での作業は危険です。アンテナの向きの調整については販売店にご相談ください。



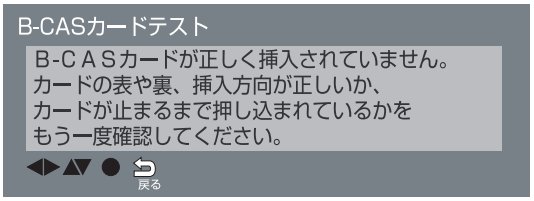
■B-CAS カードの動作を確認する

●miniB-CAS カードを挿入後、３秒以上経過してから操作してください。
1.「B-CAS テスト」を選択し、【決定】ボタンを押します。
●右図の≪図 1≫が表示されましたらデジタル放送やデータ放送を利用することができます。
●右図の≪図 2≫が表示されましたら miniB-CAS カードの表や裏、挿入方向が正しいか、カードが止まるまで押し込まれているかをもう一度確認してください。

≪図 1≫



≪図 2≫

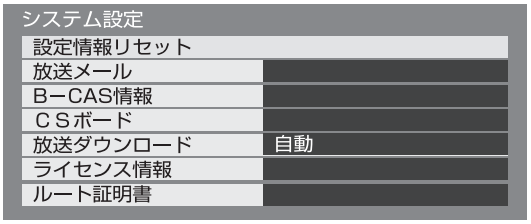


システム設定

●「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

■設定情報リセット

●お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。
※初期化をすると、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）もすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。
※USB ハードディスクの登録情報も消去されます。本機で使用していた USB ハードディスクの録画番組の再生もできなくなります。
※視聴制限設定の暗証番号は消去されません。「暗証番号削除」で消去してください。
※双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作で放送局に登録された情報は、この操作では消去されません。それぞれのサービスで情報の消去作業（退会手続きなど）を行ってください。
1.「設定情報リセット」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。
●画面に表示される内容に従って、操作します。
●いったん画面が暗くなります。
3.「かんたん設置設定」画面が表示されるまで、本体の電源を「切」にしないでください。
4.「かんたん設置設定」画面が表示されましたら、本体の電源を「切」にします。



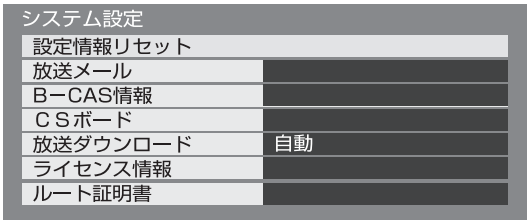
機器設定

①【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

システム設定（つづき）

■放送メール

●放送メールには、放送局からのお知らせやダウンロード情報などがあります。
1.「放送メール」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 読みたい放送メールを選択して【決定】ボタンを押します。
●お知らせメールの内容が表示されます。



■B-CAS情報

1.「B-CAS 情報」を選択して【決定】ボタンを押します。
●カード情報が表示されます。

■ＣＳボード

●110 度 CS デジタル放送からの情報を確認します。
1.「ＣＳボード」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選択して【決定】ボタンを押します。
3. 読みたい情報を選択して【決定】ボタンを押します。
●ボードの内容が表示されます。

■放送ダウンロード

●デジタル放送で送られてくる、新しい情報のダウンロードの方法を設定します。
1.「放送ダウンロード」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「自動」または「手動」を選択して【決定】ボタンを押します。
• 自動：情報が届いた場合、リモコンで電源が「待機」になっているときに、自動でダウンロードを実行します。
通常はこの設定にしておきます。
• 手動：情報が届いた場合、放送メールでお知らせします。

■ライセンス情報

1.「ライセンス情報」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「ソフト情報表示」を選択して【決定】ボタンを押します。
●ソフト情報が表示されます。

■ルート証明書

●ルート証明書の番号を確認する

●地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサー バーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
●ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。
1.「ルート証明書」を選択して【決定】ボタンを押します。
● ルート証明書の内容が表示されます。
※ルート証明書とは・・・サーバーを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。
この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

機器設定

①【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示してください。
②「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押してください。

その他の設定

●「その他の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

■文字入力設定

■文字の入力方式を切り換える

●文字の入力方式を、画面キーボード方式またはリモコンボタン方式に切り換えます。
1.「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「入力方法」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「画面キーボード」または「リモコンボタン」を選択して【決定】ボタンを押します。

■変換方式を切り換える

●文字の変換方式切り換えます。
1.「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「変換方式」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「通常方式」または「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。

■選局対象

●【チャンネル▲▼】ボタンで選局するときに、選べる対象を設定することができます。
1.「選局対象」を選択して【決定】ボタンを押します。
•設定チャンネル：リモコンの数字ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定されたチャンネルが対象になります。
• テレビのみ：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみが対象になります。
• 全チャンネル：現在放送されているすべてのチャンネルが対象になります。

機器情報

①【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示してください。
②「機器情報」を選択して【決定】ボタンを押してください。
●ソフトウェアのバージョンを確認できます。
「ID 表示」で【決定】ボタンを押します。
「デコーダーＩＤ」「バージョン」が表示されます。

テレビの視聴と設定

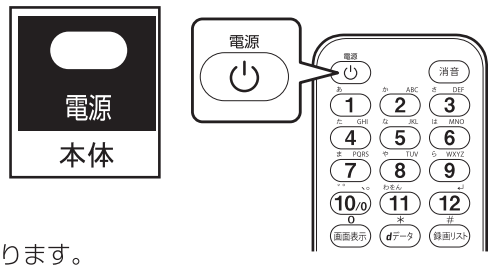
〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

電源を入れる

コンセントに電源プラグを差し込むと、スタンバイ状態になり、本体の電源ランプが赤色に点灯します。

本体、またはリモコンの【電源】ボタンを使って電源をオンにします。
(本体の電源ランプが 緑色に点灯します)

※【電源】ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかる場合があります。
画面が表示されるまでお待ちください。



電源を切る

もう一度【電源】ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

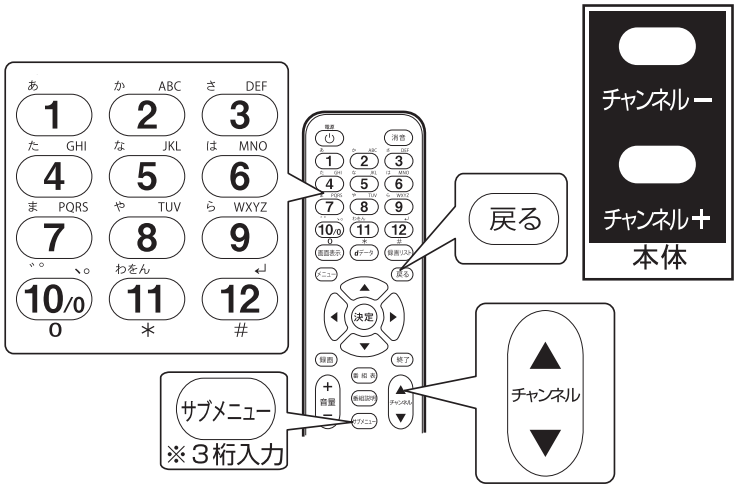
チャンネルを替える

① 数字ボタンで見たいチャンネルを選ぶことができます。

② 本体の【チャンネル＋／－】ボタンまたはリモコンの【チャンネル▲／▼】ボタンを押すと、チャンネルを選ぶことができます。

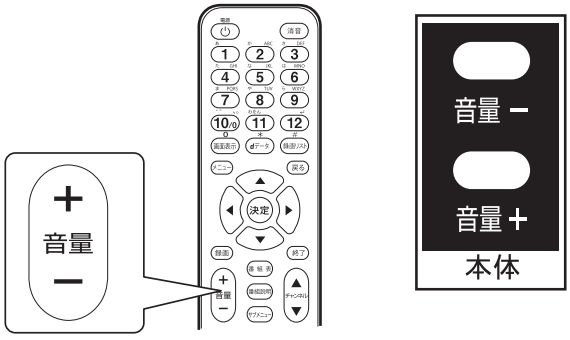
③３桁入力は以下の手順で行います。

【サブメニュー】ボタンを押します→サブメニューの「3 桁入力選局」を選択→入力が完了しますとチャンネルが変わります。



音量を調節する

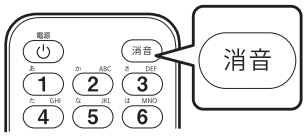
本体またはリモコンの【音量＋／－】ボタンを押すと、音量を調節することができます。



消音

【消音】ボタンを押すと、音声を一時的に消しておくことができます。

再度【消音】ボタンを押す、または【音量調節】ボタンを押すと音声が聞こえるようになります。



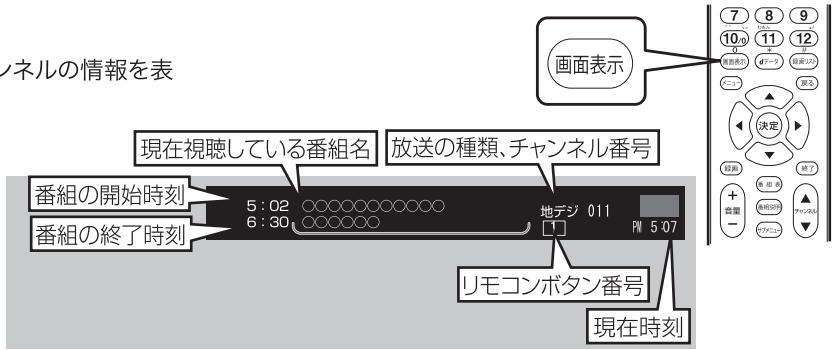
番組情報を表示する

【画面表示】ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。

もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

●現在視聴している番組の終了時刻3分前からは、次の番組名も表示されます。

●選局時には一部省略された状態で表示されます。



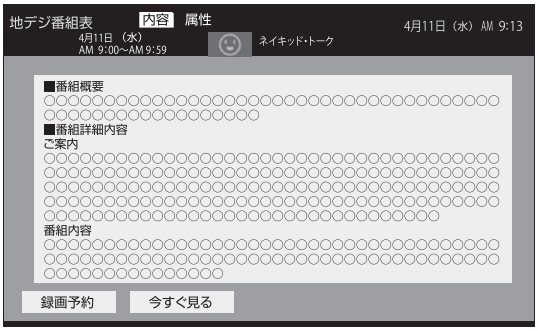
テレビの視聴と設定

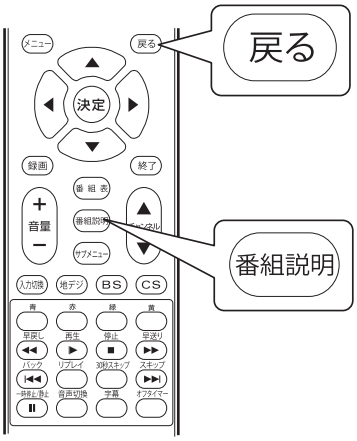
〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

番組説明を表示する

【番組説明】ボタンを押すと現在視聴している「番組内容」画面が表示されます。
表示を消すには、【番組説明】ボタンをもう一度押すか【戻る】ボタンを押します。

●番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
●番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
●なお、番組表からも同様の表示をさせることが可能です。





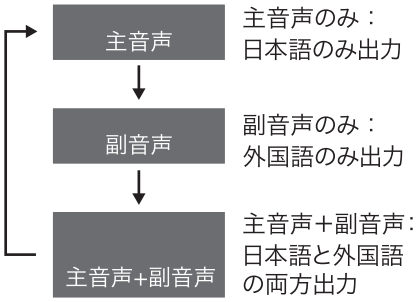
音声を切り換える

リモコンの【音声切換】ボタンを押すたびに音声を切り換えることができます。

・音声多重放送を行っている時に切り換えることができます。
・音声多重放送には二重音声やマルチ音声などがありますが、放送内容によっては表示が異なることがあり、右図と異なることがあります。

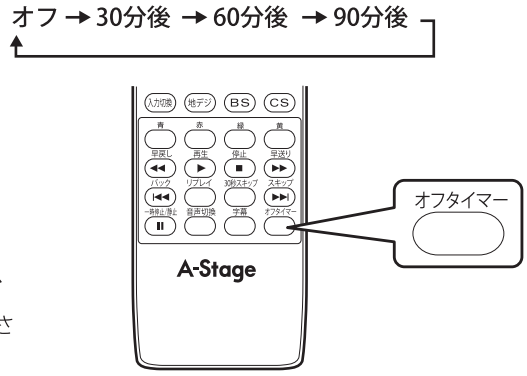
●ステレオやモノラルで放送されている場合には音声を切り換えられない場合があります。

主音声で日本語、副音声で外国語というように二ヶ国語で放送している場合。



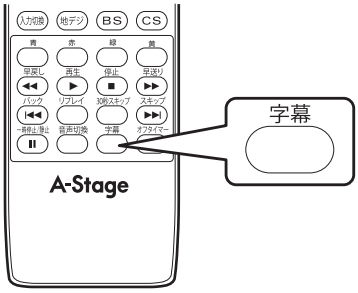
オフタイマーを使う

① 設定した時間経過後に電源を切る（待機状態にする）ことができます。
② リモコンの【オフタイマー】ボタンを押すたびに設定時間が右図のように切り換わります。
※ オフタイマー設定中に再度オフタイマー操作を行うと、オフタイマーはリセットされます。
※ 初期設定は「オフ」に設定されています。
●電源が「切」になる3分前から「3分後」、「2分後」、「1分後」が点滅表示され、30秒前からは段階的に画面 が暗くなり、音量が小さくなります。
その間に操作をすると、画面と音量は元に戻りますが、オフタイマーは解除されません。



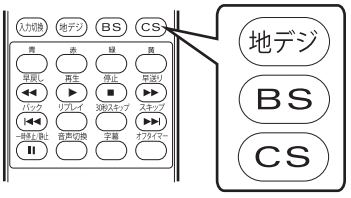
字幕を表示する

① 字幕放送時に【字幕】ボタンを押すと番組の音声などを字幕で表示することができます。
※ 放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります。
※ 字幕放送に対応している地上デジタル放送の番組でのみ利用することができます。
※ 映像自体に字幕が表示されている場合は「字幕オフ」に設定しても字幕が表示されます。
※ 字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。



放送切換

本体やリモコンの各放送ボタンを押すと、その放送を視聴することができます。



各ボタンを押すだけで各放送へ切り換わります。

テレビの視聴と設定

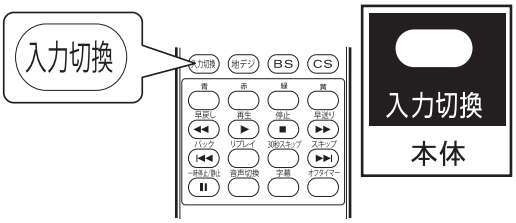
〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

入力切換

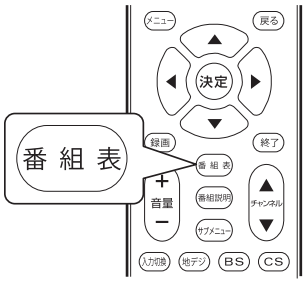
リモコンまたは本体の【入力切換】ボタンを押すと右図のような表示が出ます。

【入力切換】ボタンまたはリモコンの【▼／▲】ボタンで下図のように入力を切り換えることができます。

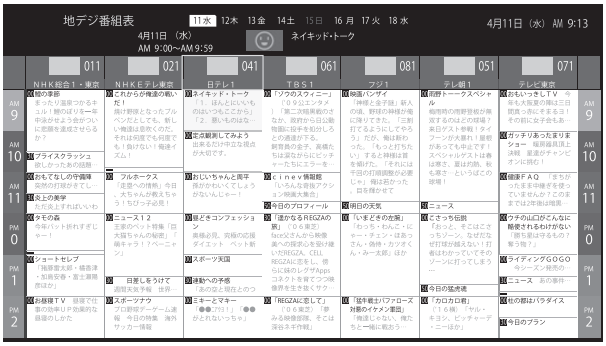
テレビ➔HDMI1➔HDMI2➔ビデオ



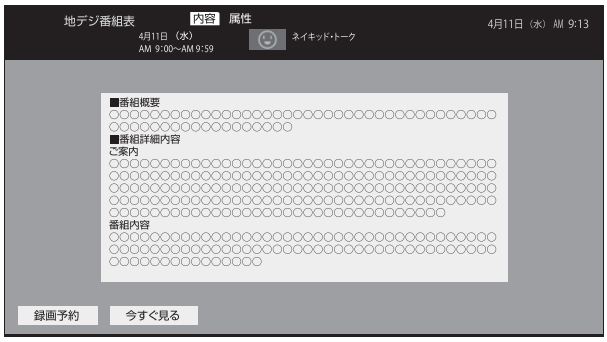
番組表ボタン



●デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
●お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
●番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日２時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
1. デジタル放送視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押しますと、番組表が表示されます。
2. 放送の種類を変えるときは【地デジ】、【BS】、【CS】ボタンを押します。
3. 翌日の番組表を表示するときは【黄】ボタンを押します。前日の番組表を表示するときは【緑】ボタンを押します。
4. 番組表を消すときは、【終了】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。
●番組表に表示できる番組情報は最大８日分です。
●データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
●番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。



5. 見たい番組を【方向】ボタンで選び【決定】ボタンを押します。
●「番組内容」画面が表示され、番組の内容を確認できます。
6. 現在放送中の番組を見るときは「今すぐ見る」を選択して【決定】ボタンを押します。
● これから放送される番組のときは、「今すぐ見る」は表示されません。
●「視聴予約」を選ぶと、視聴予約が設定されます。
●「録画予約」を選ぶと「録画予約設定」画面が表示されます。

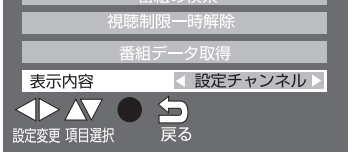


■番組表を更新する

●番組表の中が空欄になっているときは、空欄になっている放送局を選択して【決定】ボタンを押します。
※【サブメニュー】ボタンを押して「番組データ取得」を選択して【決定】ボタンを押しても取得できます。
※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 録画中は番組情報の取得ができません。
※番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

■番組表に表示する内容を変更する

●番組表に表示する表示内容を変更することができます。
1. 番組表を表示中に【サブメニュー】ボタンを押します。
2.「表示内容」を【◀/▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。



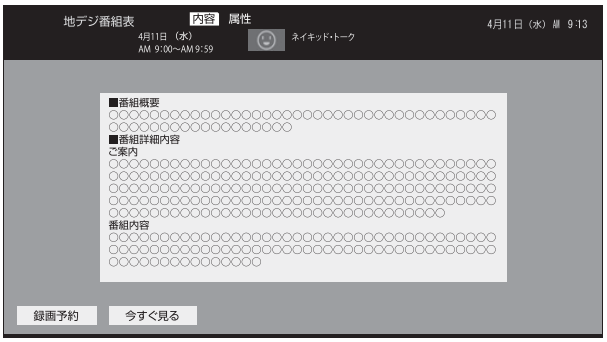
テレビの視聴と設定

〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

番組表ボタン（つづき）

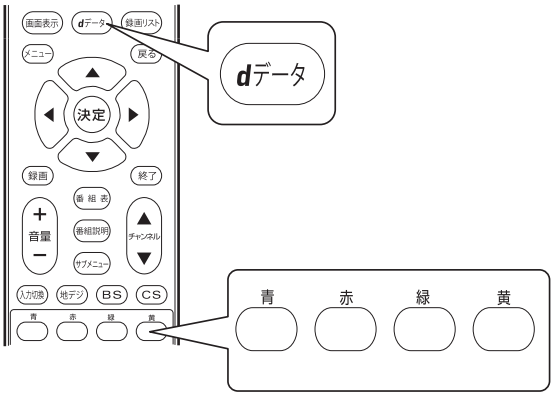
■ジャンルを選んで番組を探す

● 番組のジャンル（分野）を指定して、見たい番組を探すことができます。
1. 番組表を表示中に【サブメニュー】ボタンを押します。
2.「番組の検索」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「ジャンル検索」が表示されましたら【決定】ボタンを押します。
4.「メインジャンル」に表示されました各カテゴリーを選択して【決定】ボタンを押します。
5.「サブジャンル」が表示されますので各カテゴリーを選択して【決定】ボタンを押します。
●検索結果画面が表示されます。
6.「番組内容」画面について。
●「内容」は番組内容が表示されます。
●「詳細」は情報があるときに、画像などで詳しい内容が表示されます。（情報が無いときは、表示されません）
●「属性」は、放送方式などの情報が表示されます。
●「内容」から「詳細」「属性」へと右の項目に移動するときは、【赤】ボタンを押します。
左の項目に移動するときは【青】ボタンを押します。



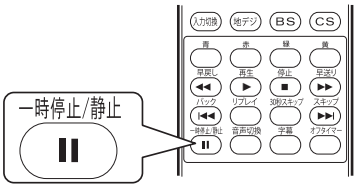
d データ

●一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サー ビスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加し て楽しむことができます。
●テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。
1. 視聴中に【ｄデータ】ボタンを押します。
●視聴中のデータ放送が表示されます。
※番組、チャンネルにより表示するまでに時間が掛かる場合がありますので、そのままお待ちください。
※操作可能なカラーボタンが表示されている場合は、リモコンに対応するカラーボタンで操作することができます。
※放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
2. データ放送を表示中に再度【ｄデータ】ボタンを押すとデータ放送表示を終了します。



一時停止 / 静止

●【 ▌▌ 】ボタンを押すと、映像が静止します。
●解除するときは、もう一度【 ▌▌ 】ボタンを押します。
●操作をしないで約 10 分が経過すると、静止は解除されます。
※ 映像の静止中でも音声は流れ続けます。



録画・予約機能

USB ハードディスクの仕様及び注意事項

■注意事項

＜使用を推奨するハードディスクについて＞

●本製品に録画用として登録できる USB ハードディスクは、160GB～4TB までの USB ハードディスクです。

●電源非供給タイプ（バスパワータイプ）のハードディスクは使用できません。
電源供給型のハードディスク（標準規格ＵＳＢ2.0ＨＤＤ）を使用してください。使用時にはＨＤＤに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。

●ＵＳＢフラッシュメモリは使用できません。

●Ｆｌａｓｈ－ＳＳＤ（ソリッドステートドライブ）は 使用できません。

●本製品の製造後に発表された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。

●本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

●ＵＳＢケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質な物をお使いください。

●本製品で使用できるハードディスク（ＨＤＤ）は、ＤＶＤディスク等と違い半永久的に使用 / 保存できる記録メディアではありません。録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるＣＰＲＭ対応・レコーダー等の使用をお勧めします。

＜ハードディスクを使用するときは＞

●接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本製品へ接続し初期化を行ってから使用してください。

●ハードディスク内にパソコンなどのデータがある場合は消去されてしまうのでご注意ください。

●ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。

●ＵＳＢハブなどを使用しないでください。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。

●ハードディスクを使用中（アクセス中）に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。

●本製品に接続した USB ハードディスクを取りはずす場合は「USB ハードディスクを取りはずす(P14)」の操作をしてください。

●録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ズレる場合がありますのでご了承ください。

●本製品で使用したハードディスクは、本製品でのみ再生・録画ができます。
※パソコンなどに接続して再生することもできません。

●本製品で使用したハードディスクを本製品以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同本製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本製品以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
※本製品を 2 台ご購入された場合でも、1 台目の本製品で録画した番組は 2 台目の本製品では視聴できません。

＜その他のご注意＞

●本製品で使用していた USB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本製品で録画した番組はすべて消去されます。

●故障で本製品を修理した場合などは、USB ハードディスクに録画した番組を本製品で再生できなくなります。

●物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。

●テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。

●分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。

●電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。

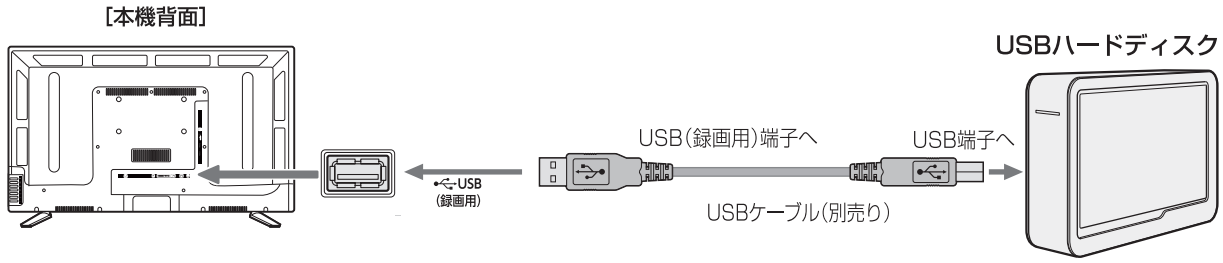
●高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。

録画・予約機能

USB ハードディスクの接続と設定

■USB ハードディスクを接続する

●USB ハードディスクは専用の AC アダプターを接続してご使用ください。
●USB ハードディスクは、USB（録画用）端子に接続します。
※USB ハブを使用した接続はできません。



●USB ハードディスクは、すべての動作を保証するものではありません。

■USB ハードディスクを本機に登録する

※USB ハードディスクを録画用に登録すると、USB ハード ディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。
● P16 の「機器設定」→「ＵＳＢ機器管理」をご覧ください。

見ている番組を録画する

●今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。
※USB ハードディスクで、すでに録画中の場合は、この操作はできません。
1. 放送番組を見ているときにリモコンの【録画】ボタンを押します。
● 録画が開始されます。
● 録画は、「機器設定」→「録画設定」→「 録画ボタン設定」 の設定に従って、自動停止します。（ P17 参照）
※ この操作での録画中に、予約した番組の録画が始まる場合、予約の録画が優先されます。
※ USB ハードディスクの残量がなくなった場合は、録画が自動的に停止します。
2. 録画を途中で止めるとき
●録画を途中で止めるときは、【停止】ボタンを押します。
3. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

■録画モードについて
●録画モードは「標準」（放送そのままの画質）になります。録画モードの変更はできません。

■見ている番組を録画中にできる操作
●USB ハードディスクに録画しながら【再生】ボタンを押すと、録画リストが表示されます。
　録画リストから録画中の番組を再生することができます。
注意）再生画像に影響が出る場合があります。

■番組録画中の画面表示について
●USB ハードディスクに録画している番組の情報が表示されます。
1. 録画中に【画面表示】ボタンを押します。
2. 表示を消すにはをもう一度【画面表示】ボタンを押します。

録画中の放送とチャンネル

番組表で録画・予約をする

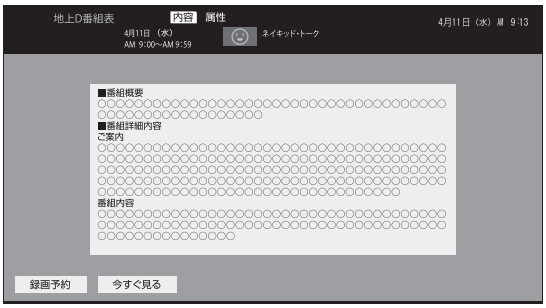
■番組表で予約する（かんたん予約）

1.【番組表】ボタンを押して番組表を表示させます。
2. 録画する番組を【方向】ボタンで選択して【録画】ボタンを押します。
●現在選ばれている設定で録画予約が完了し、番組表の予約番組名の前に「予」という予約アイコンが表示されます。
（放送中の番組の場合は、録画が開始されます）
●録画先は USB ハードディスクになります。
●もう一度【録画】ボタンを押しますと予約が取り消されます。

番組表で録画・予約をする（つづき）

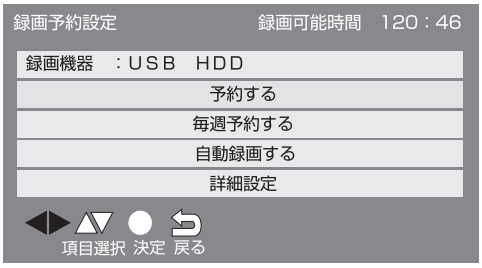
■番組表で予約する（基本操作）

1.【番組表】ボタンを押して番組表を表示させます。
2. 録画する番組を【方向】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。
●「番組内容」画面が表示されます。



3.「録画予約」を選択して【決定】ボタンを押します。
●「録画予約設定」画面が表示されます。
●「録画機器」が「USB HDD」のときは、録画可能時間が表示されます。

4.「予約する」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約が完了すると、「予約が完了しました」とメッセージが表示されます。
●放送中の番組の場合は、録画が開始されます。
●設定が終了したら【戻る】ボタンを押します。



■毎週予約をする

●毎週予約は、設定した予約と同じ曜日、同じ時間帯の番組を毎回自動的に予約します。
1.「録画予約設定」の「毎週予約する」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約をした後または録画中に、本機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■自動録画をする

●自動録画は、放送日や放送時間が一定ではないシリーズの番組を、番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから自動検索して、本製品が自動的に毎回予約を設定します。
1.「録画予約設定」の「自動録画する」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

■自動予約を一時的に解除する

●自動予約を一時的に解除したいときに設定します。
1.【メニュー】→「機器設定」→「録画設定」の順に進み、「自動予約」で「オフ」を選択して【決定】ボタンを押します。
●次回以降の放送は、自動予約されません。
●「1.」で「オン」を選択しますと、設定した内容で自動予約が再開されます。

注意！

●番組タイトルが、極端に短いと設定できない場合があります。
●番組名が前回と大きく異なると、次回の放送を検索できない場合があります。
●一つの「自動予約する」からは、1 日に 1 回だけ予約が設定されます。
（同じ番組が 1 日に複数回放送される場合は、1 回だけ予約を設定します）

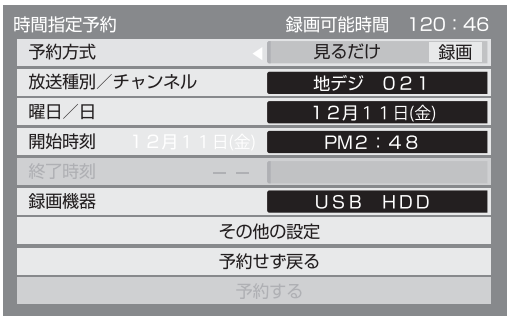
■予約の詳細設定を変更する

●予約の詳細設定を変更します。
「録画予約設定」の「詳細設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
・予約方式：「見るだけ」または「録画」から選択します。
・録画機器：録画機器 が表示されます。
・その他の設定：「録画番組のプロテクト」の設定ができます。
※大切な録画番組を間違えて消去しないように、プロテクト（保護）することができます。
・ 時間指定予約へ：「はい」を選択しますと「時間指定予約」画面が表示されます。

番組表で録画・予約をする（つづき）

■日時を指定して予約をする

1.【メニュー】→「タイマー設定」→「日時指定予約」の順に進み、【決定】ボタンを押します。



• 予約方式
「見るだけ」または「録画」から選びます。
• 放送種別／チャンネル
【決定】ボタンを押して、録画する放送とチャンネルを設定します。
• 曜日／日
予約する曜日と日を設定します。「毎日」、「毎週」も設定することができます。
• 開始時刻
予約を開始する時刻を設定します。
• 終了時刻
予約の終了時刻を設定します。
• 録画機器
録画する機器を選びます。
2.「予約する」を選択し【決定】ボタンを押します。

■予約を確認する

1.【サブメニュー】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.【青】ボタンを押して通常の「予約リスト」の一覧を表示させる、または【赤】ボタンを押して「自動録画」で予約された次回以降の番組の一覧を表示させます。

■予約を変更する

1.【サブメニュー】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.【青】ボタン（予約リスト）または【赤】ボタン（自動録画）を押して予約番組一覧の一覧を表示させます。
3. 変更したい予約を選択して【決定】ボタンを押します。
4.「設定変更」を選択して【決定】ボタンを押します。
●「設定変更」画面が表示されます。
●「毎週」予約の番組を選択したときは、「時間指定予約」画面が表示されます。
●「予約削除」を選択しますと、予約が削除されます。
●録画動作中（「実行中」と表示）の予約を選んだときは、「取り消し」を選択しますと録画を停止します。
4. 設定を変更して【戻る】ボタンを押します。
5.「修正する」を選択して【決定】ボタンを押します。
●変更した内容で予約が確定します。

■予約を削除する

1.【サブメニュー】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.【青】ボタン（予約リスト）または【赤】ボタン（自動録画）を押して予約番組一覧の一覧を表示させます。
3. 削除したい予約を選択して【黄】ボタンを押します。
4.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

■動作済の予約（履歴）を一括で削除する

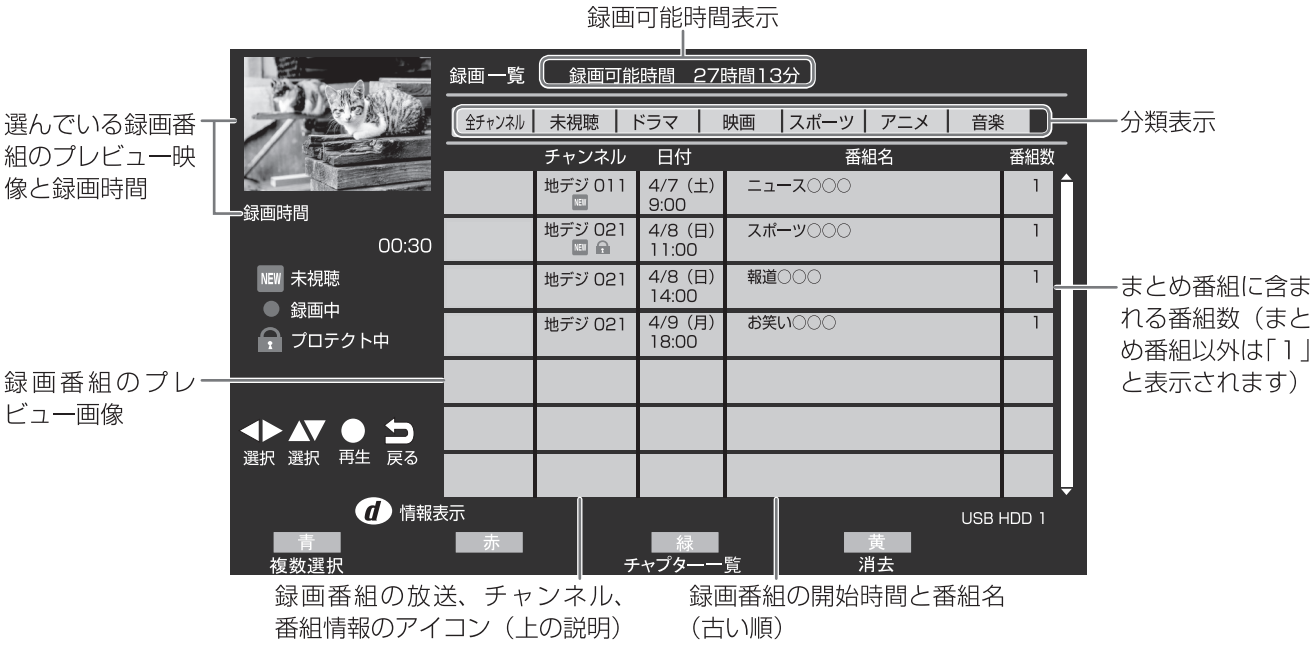
●「予約一覧」画面に表示される、予約（履歴）を一括で削除することができます。
1.【サブメニュー】ボタンを押して「予約一覧」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「予約一覧」画面の表示中に【サブメニュー】を押します。
3.「全履歴削除」を選択して【決定】ボタンを押します。
4. 確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。
●予約（履歴）が一括で削除されます。

録画した番組を再生する

■再生の基本操作

1.【録画リスト】ボタンを押します。
2.【◀/▶】ボタンで見たい分類「全チャンネル」「未視聴」「ドラマ」「映画」「スポーツ」「アニメ」「音楽」を選択します。
3.【▲/▼】ボタンで見たい番組を選択して【決定】ボタンを押します。
●選んだ番組の再生が始まります。
●前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、「続きから再生」するか、「最初から再生」するかを選びます。
選んだ状態の再生が始まります。
●録画番組を最後まで再生が終わりますと、静止状態になり録画リストに戻ります。
4. 番組再生を停止する場合は【停止】ボタンを押します。

「録画リスト」画面

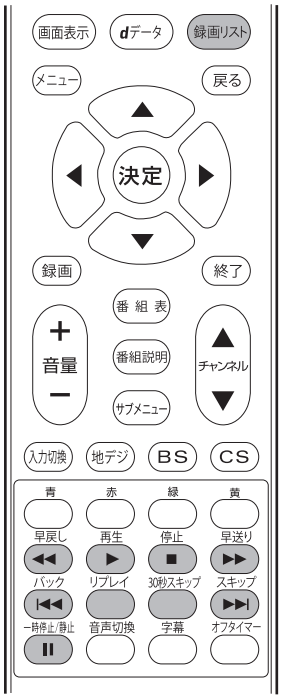


「録画リスト」面に表示される番組情報アイコン

アイコン	意味
NEW	未視聴
●	録画中
🔒	プロテクト（保護）中
まとめ	まとめ番組（再生のしかたは、

録画した番組を再生する

■録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内　容
再生 ▶	●録画番組の再生を開始します。 •テレビ放送やビデオ入力のときに押すと「録画一覧」画面が表示されます。前回、途中まで録画番組を見ていた場合は、「続きから再生」または「最初から再生」するかを確認する画面が表示されます。 •再生中に3秒以上押すと、1.3倍の速さの「音声付早送り再生」になり、もう一度押すと通常の再生に切り換わります。
一時停止/静止 ⏸	●再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中に押すと、再生が再開されます。
停止 ■	●再生を停止し「録画一覧」になります。
早送り ▶▶	●再生中に押すと、早送り再生をします。押すたびに早送りの速度が速くなります。（5段階） ※【再生】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。
早戻し ◀◀	●再生中に押すと、早戻し再生をします。押すたびに早戻しの速度が速くなります。（5段階） ※【再生】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。
スキップ ▶▶I	●再生中に押すと、次のチャプターの頭出しをします。 さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。
バック I◀◀	●再生中に押すと、現在のチャプターの頭に戻ります。 さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。
30秒スキップ	●再生中に押すと、約30秒先に進んで再生します。
リプレイ	●再生中に押すと、約10秒戻って再生します。
録画リスト	●放送番組視聴中または再生中に押すと、「録画一覧」画面が表示されます。

再生画面

録画した番組を再生する

■録画番組の再生中にできるリモコン操作（つづき）

●【方向】ボタンと【カラー】ボタンで操作する

【決定】ボタン：一時停止します。もう一度押すと、再生に戻ります。

【右 ▶】ボタン：早送りします。

※押すたびに早送りの速度が速くなります。（5 段階）

●【決定】ボタンを押すと通常再生に戻ります。

【左 ◀】ボタン：早戻しします。

※押すたびに早戻しの速度が速くなります。（5 段階）

●【決定】ボタンを押すと通常再生に戻ります。

【青】ボタン：現在のチャプターの頭に戻ります。さらに繰り返し押すと、前のチャプターの頭に戻ります。

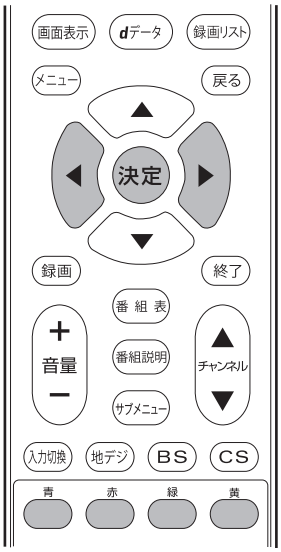
【赤】ボタン：次のチャプターの頭出しをします。さらに繰り返し押すと、次のチャプターの頭出しをします。

【緑】ボタン：画面の下側にチャプター一覧が表示されます。

【◀/▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押すと選択したチャプターの頭出しをします。

【黄】ボタン：指定した「A」と「B」の間を繰り返し再生します。

再生中に1度押すと、押した場面が「開始」(「A」と表示)もう一度押すと「終了」(「B」と表示)になります。もう一度【黄】ボタンを押すと解除されます。



文字を入力する

●文字の入力方法には、画面キーボード方式とリモコンボタン方式の２種類あります。

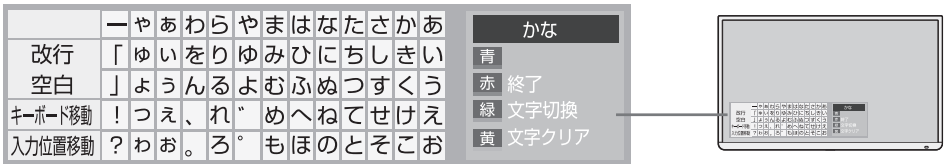
●ＵＳＢ機器管理の際に変更できる表示名の文字入力等に使用出来ます。

■画面キーボード方式

●画面に表示されるキーボードから文字や項目を選んで入力します。

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「入力方式」で「画面キーボード」を選択して【決定】ボタンを押します。

2. 画面に表示されるキーボードから文字や項目を選んで入力します。



3.【緑】ボタンを押すと「文字切換」（かな・カナ・英数）ができます。

4.【方向】ボタンでキーボードから文字を選択して【決定】ボタンを押します。

●3.4. を繰り返して、文字を入力します。

5.【青】ボタンを押してから【▲/▼】ボタンで漢字を選択して【決定】ボタンを押します。

●変換しないときは【赤】ボタンを押します。

6. 文字入力が終了したら【赤】ボタンを押します。

●キーボードが消えます。

■変換方式を「予測方式」のとき

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「変換方式」で「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。

●変換方式を「予測方式」にしたときは、【方向】ボタンで文字を選択すると「予測変換」欄に候補が表示されます。

2.【方向】ボタンの【 ▲ 】ボタンを押し、「予測変換」の候補まで進み、【◀/▶】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。

■文字を追加するとき

1. キーボードの「入力位置移動」選択して【決定】ボタンを押します。

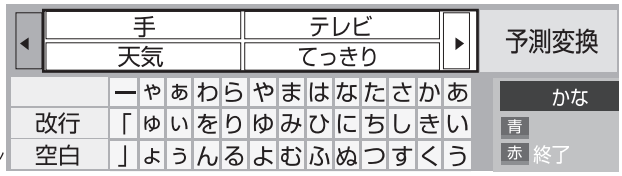
2.【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して【決定】ボタンを押します。

3. 文字を入力します。

■文字を削除するとき

1. キーボードの「入力位置移動」選択して【決定】ボタンを押します。

2. 削除する文字に【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して【黄】ボタンを押します。



文字を入力する

■リモコンボタン方式

●携帯電話とほぼ同様の操作で文字を入力します。

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「入力方法」で「リモコンボタン」を選択して【決定】ボタンを押します。

2.【数字】ボタン（1 ～ 12）を使用して入力します。

●文字に続けて【10】ボタンを押せば、濁点（゛）や半濁点（゜）の入力ができます。

入力例：がっこう

(2)(10/0)(4)(6回)(2)(5回)(1)(3回)

が　っ　こ　う

●同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に【▶】ボタンを押します。

入力例：あい ➡ (1) ▶ (1)(2回)

あ　い

●入力文字種を変えるときは【緑】ボタン（文字切換）を押します。

●記号を入力するときは、「きごう」とひらがなで入力して変換します。

●文字を削除するときは【◀/▶】ボタンで削除する文字にカーソルを移動し【黄】ボタンを押します。

●文字を挿入するには、挿入する場所を【◀/▶】ボタンでカーソルを移動して入力します。

●漢字に変換しないときは、【決定】ボタンを押します。

●漢字に変換するときは【▲/▼】ボタンを押して、希望の漢字が見つかったら【決定】ボタンを押します。

3. すべての入力が終わったら、【決定】ボタンを押します。

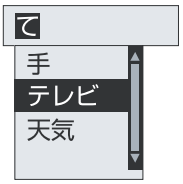
■変換方式を「予測方式」のとき

1.【メニュー】→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「変換方式」で「予測方式」を選択して【決定】ボタンを押します。

●変換方式を「予測方式」にしたときは、文字を入力すると 候補が表示されます。

●1 文字入力すると候補が表示されます。

2.【▲/▼】ボタンで選択して【決定】ボタンを押します。



入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	かな	カナ	英数	数字
(1)	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お→1	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ→1	@→.→/→:→?→_ #→$→%→*→+→= →^→`→1	1
(2)	か→き→く→け→こ→2	カ→キ→ク→ケ→コ→2	a→b→c →A→B→C→2	2
(3)	さ→し→す→せ→そ→3	サ→シ→ス→セ→ソ→3	d→e→f →D→E→F→3	3
(4)	た→ち→つ→て→と →っ→4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ →4	g→h→i →G→H→I→4	4
(5)	な→に→ぬ→ね→の→5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5	j→k→l →J→K→L→5	5
(6)	は→ひ→ふ→へ→ほ→6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6	m→n→o →M→N→O→6	6
(7)	ま→み→む→め→も→7	マ→ミ→ム→メ→モ→7	p→q→r→s →P→Q→R→S→7	7
(8)	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ→8	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ→8	t→u→v →T→U→V→8	8
(9)	ら→り→る→れ→ろ→9	ラ→リ→ル→レ→ロ→9	w→x→y→z →W→X→Y→Z→9	9
(10/0)	、→。→?→!→・ →（→）→0	、→。→?→!→・ →（→）→0	-→,→;→'→″→? →!→&→¥→|→(→)→<→>→[→] →{→}→0	0
(11)	わ→を→ん→わ→ー →スペース	ワ→ヲ→ン→ワ→ー →スペース	スペース	*
(12)	戻る	戻る	戻る	#

●最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

インターネットの設定

■インターネットに接続したときにできること

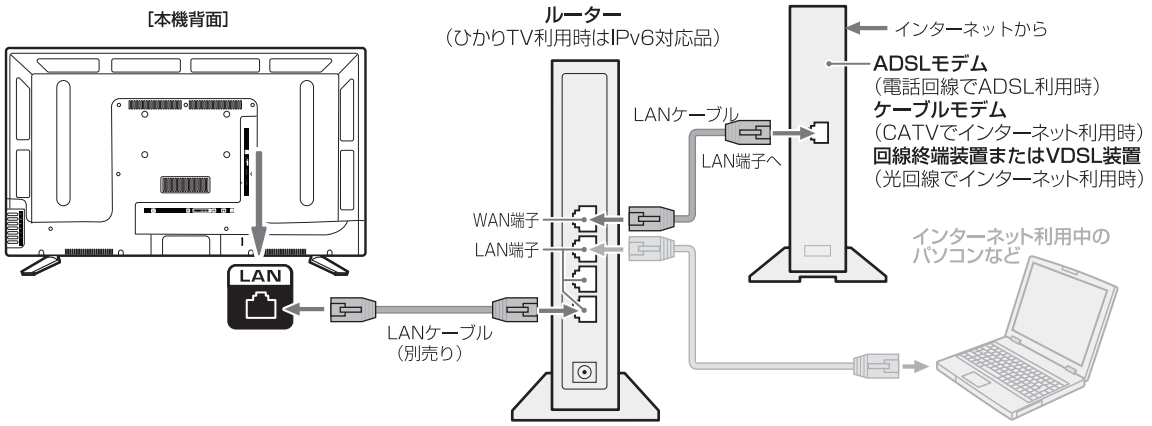
●データ放送の双方向サービス

・クイズ番組に参加したり、ショッピ ング番組で買物をしたりすることができます。

※電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。

■接続方法

●はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。
通信事業者または取扱いの電気店などにご相談ください。



●LAN ケーブルは、カテゴリ 5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。

●本製品の LAN 端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。

●本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

●本機はダイヤルアップ通信や ISDN 回線などでインターネットを利用することはできません。

●ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機の LAN 端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

■インターネットを利用するための設定

●インターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

1.【メニュー】ボタンを押します。

2.「設定メニュー」の「通信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

3.「ネットワーク接続」を選択して【決定】ボタンを押します。

■IP アドレス設定

●インターネットに接続するために、本機に割り当てられる 固有の番号を設定します。

※「IP アドレス」及び「DNS アドレス」を「自動取得」に設定した場合は以下の設定は不要です。

※「IP アドレス」を「手動取得」に設定した場合は「DNS アドレス」は、自動的に「手動取得」に設定されます。
その場合は、DNS アドレスを手動で設定しま す。

1.「IP アドレス」を選択して【数字】ボタンで入力します。

2.「サブネットマスク」を選択して【数字】ボタンで入力します。

3.「ゲートウェイ」を選択して【数字】ボタンで入力します。

■DNS 設定

4.「DNS」を選択して【数字】ボタンで入力します。

■プロキシサーバー設定

●インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

●ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。

1.「プロキシ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

2.「アドレス」を入力します。

3.「ポート番号」を入力します。

■接続テストをする

1.【メニュー】ボタンを押します。

2.「設定メニュー」の「通信設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

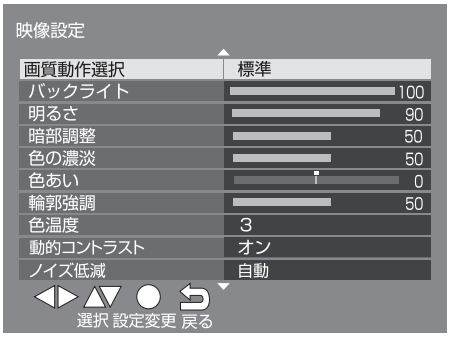
3.「ネットワーク状態」を選択して【決定】ボタンを押します。

●接続テストが終了するまで、しばらくお待ちください。

●正しく接続できない場合は、設定を確認して再度接続テストを行ってください。

映像の設定

●【メニュー】ボタンを押して【決定】ボタンを押します。
●「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。



■画質動作選択
1.「画質動作選択」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「鮮やか」「標準」「居間」「映画」「映画プロ」「任意設定」で切り換えます。お好みに合わせて選択してください。

■バックライト
1.「バックライト」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

■明るさ
●映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
1.「明るさ」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

■暗部調整
●映像の暗い部分（黒）の再現性（明るさ）を調整します。
1.「暗部調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

■色の濃淡
●映像の色の濃さを調整します。
1.「色の濃淡」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

■色あい
●肌の色に注目して、色合いを調整します。
1.「色あい」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「−50」（紫を強く）～「+50」（緑を強く）の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

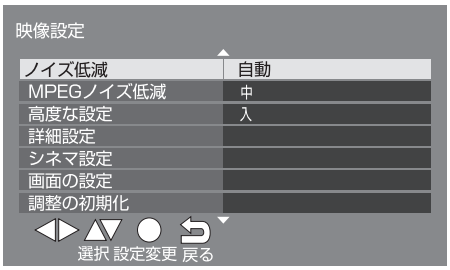
■輪郭強調
●映像の鮮明さを調整します。
1.「輪郭強調」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してください。

■色温度
●画面全体の色味を調整します。
1.「色温度」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「5」～「1」の５段階から選びます。
調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系になり、大きくなるほど寒色系になります。

■動的コントラスト
●周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
1.「動的コントラスト」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」「オフ」から選びます。
- オン：明るさ検出機能が働きます。
- オフ：この機能は働きません。

映像の設定（つづき）

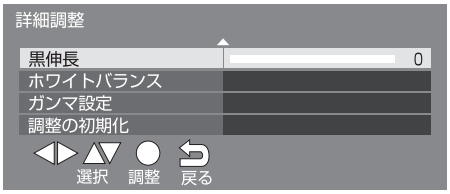
●【メニュー】ボタンを押して【決定】ボタンを押します。
●「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。



■ノイズ低減
●映像のざらつきやちらつきを減らします。
1.「ノイズ低減」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「自動」「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
• 自動：映像の種類に応じて自動的に制御されます。
• 強、中、弱：ノイズ低減の効果が切り換わります。
• オフ：この機能は働きません。
※通常は「自動」に設定してください。強くかけると残像が目立つ場合があります。

■MPEG ノイズ低減
●動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭の周囲のノイズ）を減らします。
1.「MPEG ノイズ低減」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「強」「中」「弱」「オフ」から選びます。
• 強、中、弱：MPEG ノイズ低減の効果が切り換わります。
• オフ：この機能は働きません。
※効果を強くすると精細感をそこなう場合があります。

■高度な設定をする
1.「高度な設定」を選択して【決定】ボタンを押して「入」にします。
2.「詳細設定」を選択して【決定】ボタンを押します。



■黒伸長
●中間より暗い部分の階調変化を調整します。
1.「黒伸長」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■ホワイトバランス
●赤、緑、青の信号のホワイトバランスを調整します。明るい部分、暗い部分それぞれを調整します。
1.「ホワイトバランス」を選択して【決定】ボタンを押します。
2. 調整する項目を選択して調整します。
3.「-50～50」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■ガンマ設定
●映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。
1.「ガンマ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「2.6」「2.4」「2.2」「2.0」「1.8」から選択します。
※数値が小さいほど、中間輝度が明るくなります。
お好みに合わせて調整してくだい。

■シネマ設定
●毎秒 24 コマで撮影された映画の映像を再現します。
※ 1080i 信号、480i 信号のときに設定できます。
1.「シネマ設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「シネマリアリティ」の「オン」または「オフ」を選択して【決定】ボタンを押します。
• オン：シネマリアリティの機能が働きます。
• オフ：この機能は働きません。
※ 映像が不自然なときは、「オフ」に設定してください。

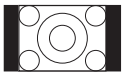
■調整の初期化
●「映像設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。
1.「調整の初期化」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

映像の設定（つづき）

●【メニュー】ボタンを押して【決定】ボタンを押します。
●「設定メニュー」から「映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。

■画面の設定

● 画面の設定を切り替えます。
1.「画面の設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「画面サイズ切替」を選択して【決定】ボタンを押します。
3.「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」「サイドカットフル」「サイドカットジャスト」「サイドカットズーム」から選びます。

画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
自動	—	放送や入力信号に応じて、最適な画面サイズに自動で切り換えます。
フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
ジャスト	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
サイドカットフル		左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面の映像が左右に引き伸ばされます。
※2 サイドカットジャスト	※3	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
※2 サイドカットズーム	※3	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の 16:9 の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。

■オーバースキャン
● 16:9 の映像のときに、画面内に収めるか、少し大きめに表示させるかを設定します。
1.「オーバースキャン」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」を選択します。
•オン：16:9 の映像を少し大きめに表示させます。
•オフ：16:9 の映像が画面内に収まるように表示させます。

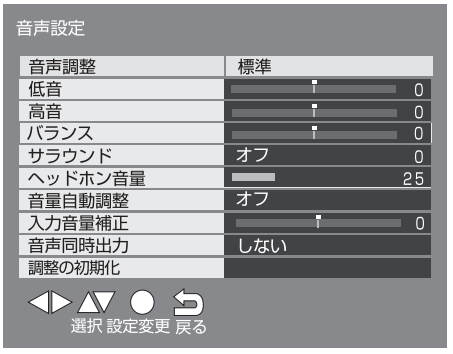
■両横ノイズカット
●映像の両端にノイズ上のものが見える場合、画面の左右の幅を変更できます。
1.「両横ノイズカット」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「標準」または「小」を選択します。
•標準：画面内に収まるように表示させます。
•小：左右を少し伸ばして表示させます。

■垂直位置／大きさ
外部入力時に映像の垂直位置や大きさを調節します。

■4：3 映像設定
●画面サイズのモードが「自動」のときの、4:3 映像の表示のさせかたを設定します。
1.「4：3 映像設定」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「ノーマル」または「ジャスト」を選択します。
●映像信号が 1080p、1080i、720p のときは動作しない場合があります。

音声の設定

●【メニュー】ボタンを押して【決定】ボタンを押します。
●「設定メニュー」から「音声設定」を選択して【決定】ボタンを押します。



■音声調整

1.「音声調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「標準」「音楽」「会話」「任意設定」で切り換えます。
お好みに合わせて選択してくだい。
・標準：全音域をバランスよく調整した音質です。
・音楽：メリハリ感を強調した音質です。
・会話：人の声を聞きやすく調整した音質です。
・任意設定：お好みに合わせて調整するモードで す。

■低音

●低音の強さを調整します。
1.「低音」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「-15 ～ +15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■高音

●高音の強さを調整します。
1.「高音」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「-15 ～ +15」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■バランス

●左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
1.「バランス」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「L15」（右を弱く）～「0」（左右同じ）～「R15」（ 左を弱く）の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■サラウンド

●臨場感あるサラウンド効果を楽しむときに設定します。
※モノラル音声には効果がありません。
1.「サラウンド」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」から選びます。
•オン：サラウンド機能が働きます。
•オフ：この機能は働きません。
※音がひずむ場合は、「オフ」に設定してください。

■ヘッドホン音量

● ヘッドホンの音量を調整します。
1.「ヘッドホン音量」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「0 ～ 100」の範囲で調整します。
お好みに合わせて調整してくだい。

■音量自動調整

●音の強弱を少なくして、音量の変化を抑えます。
1.「音量自動調整」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「オン」または「オフ」から選びます。
•オン：小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整して音量の変化を抑えます。
•オフ：この機能は働きません。

■入力音量補正

●放送から外部入力に切り換えたときに、音量が変化することがあります。このようなときに、音量を補正することができ ます。
●音量を調整したい放送または外部入力を視聴しているときに操作します。
1.「入力音量補正」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「-6」～「+6」のの範囲で調整します。

■音声同時出力

●ヘッドホンとテレビ両方から音声が出ます。
1.「音声同時出力」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「する」「しない」から選びます。
• する：ヘッドホンとテレビの両方から音声が出ます。
• しない：ヘッドホンを接続したときにテレビから音声が出ません。

■調整の初期化

●「音声設定」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。
1.「調整の初期化」を選択して【決定】ボタンを押します。
2.「はい」を選択して【決定】ボタンを押します。

各種設定

【メニュー】ボタンを押しますと「設定メニュー」が表示されます。
ここから各種設定を変更することができます。「設定メニュー」の詳細は下表でご確認ください。

設定メニュー	設定項目	説明
映像設定	画質動作選択	鮮やかー標準ー居間ー映画ー映画プロー任意設定のモードで切り換えます。お好みに合わせて選択してください。
	バックライト	[設定範囲]0 ～ 100。バックライトを 0（暗い）～ 100（明るい）の範囲で調節します。
	明るさ	[設定範囲]0 ～ 100。明るさを 0（暗い）～ 100（明るい）の範囲で調節します。
	暗部調整	[設定範囲]0 ～ 100。暗部を 0（暗い）～ 100（明るい）の範囲で調節します。
	色の濃淡	[設定範囲]0 ～ 100。色の濃淡を 0（淡）～ 100（濃）の範囲で調節します。
	色あい	[設定範囲]ー50 ～ +50。色あいを -50（紫）～ +50（緑）の範囲で調節します。
	輪郭強調	[設定範囲]0 ～ 100。輪郭の強調を 0 ～ 100 の範囲で調節します。
	色温度	[設定範囲]1 ～ 5。白の色調を調整できます。0（赤みがかった白色）～ 5（青みがかった白色）の範囲で調節します。
	動的コントラスト	[オン / オフ] 自動で映像のメリハリを調整します。
	ノイズ低減	[自動 / 強 / 中 / 弱 / オフ] から選択します。 映像のざらつきやちらつきを減らします
	MPEG ノイズ低減	[強 / 中 / 弱 / オフ] から選択します。 動きの速い映像のブロックノイズとモスキートノイズを減らす機能です。
	高度な設定 / 詳細設定	[入 / 切] で「入」を選択した時は詳細設定を行ってください。
	シネマ設定	[オン / オフ] を選択します。 毎秒 24 コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。
	画面の設定	画面の詳細を設定します。（ P40 参照）
	調整の初期化	映像設定の内容をお買い上げ時の設定・調整に戻します。
音声設定	音声調整	標準ー音楽ー会話ー任意設定のモードで切り換えます。 お好みに合わせて選択してください。
	低音	[設定範囲]ー15 ～ +15。低音を -15（高）～ +15（低）の範囲で調節します。
	高音	[設定範囲]ー15 ～ +15。高音を -15（低）～ +15（高）の範囲で調節します。
	バランス	[設定範囲] 左 0 ～ 15、右 0 ～ 15 の範囲で左右のスピーカーから出る音声を調節します。
	サラウンド	[オン / オフ] 自動で臨場感を調整します。
	ヘッドホン音量	[設定範囲]0 ～ 100。ヘッドホン音量を 0（小）～ 100（大）の範囲で調節します。
	音量自動調整	[オン / オフ] 自動で音の強弱を少なくして、音量の変化を抑えます。小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整します。
	入力音量補正	[設定範囲]ー6 ～ +6の範囲で調節します。放送から外部入力に切り換えたときに、音量が変化することがあります。このようなときに音量を補正することができます。
	音声同時出力	[する / しない] ヘッドホンとテレビ両方同時出力の有効または無効を設定します。
	調整の初期化	映像設定の内容をお買い上げ時の設定・調整に戻します。
通信設定	ネットワーク接続	ＬＡＮの状態を表示します。名称の変更、ＩＰアドレス、ＤＮＳアドレスの自動取得または手動設定が選択できます。
	ネットワーク状態	ネットワークの接続状態を確認出来ます。 確認には数分かかる場合があります。

各種設定

【メニュー】ボタンを押しますと「設定メニュー」が表示されます。
ここから各種設定を変更することができます。「設定メニュー」の詳細は下表でご確認ください。

設定メニュー	設定項目	説明
タイマー設定	日時指定予約	番組の視聴開始日時を予約できます。
	オンタイマー	電源オンの時刻を予約できます。
	無操作電源オフ	無操作状態が続いた場合のオフタイマーを設定します。 「入」を選択した時は、約4時間無操作状態が続くと電源が切れます。
	無信号電源オフ	無信号状態が続いた場合のオフタイマーを設定します。「入」を選択した時は無信号状態が10分続くと電源が切れます。
機器設定	USB 機器管理	USB 外付け HDD のさまざまな設定をします。(P16 参照)
	録画設定	USB 外付け HDD での録画、再生するための基本的な設定をします。
	視聴制限設定	暗証番号設定や視聴年齢（4 才から 19 才）制限設定をします。
	表示の設定	字幕の設定や、入力機器名の変更、チャンネルを換えた時のタイトル、時計表示のオン / オフの設定をします。
	HDMI 設定	HDMI 接続機器との連動を [オン / オフ] で選択します。
	かんたん設定	ご購入後、はじめに設定します。(P13 参照)
	設置設定	「かんたん設定」を、より詳しく設定します。(P16 参照)
	システム設定	放送メールや B-CAS 情報などシステムに関する設定や情報を見ます。(P22 参照)
	その他の設定	文字入力、変換、方式の設定などが出来ます。(P24 参照)
機器情報	ID表示	ソフトウェアのバージョンを確認出来ます。

サブメニュー（クイックメニュー）

【サブメニュー】ボタンを押しますとさまざまな設定が表示されます。
ここから各種設定をすることができます。詳細は下表でご確認ください。

設定メニュー	説明
HDMI機器設定：HDMI機器選択	HDMIに接続されている機器を選択します。
HDMI機器設定：スピーカー選択	HDMI連動機能対応のAVアンプからの音声を、テレビで出力するか外部スピーカーから出力するかを選びます。
オフタイマー	[90分・60分・30分・オフ]から選択します。 選択した時間が経過すると電源が切れます。
予約一覧	録画予約した一覧を表示します。
番組情報	現在視聴している番組の概要、詳細を表示します。
チャンネル設定	地デジ、CS、BSのチャンネル設定ができます。
3桁入力選局	3桁入力で選局ができます。
視聴制限一時解除	設定した視聴年齢制限を解除できます。 ※再度設定する場合は【メニュー】から「機器設定」→「視聴制限設定」から再度設定します。
アンテナレベル	アンテナの受信状況を表示します。
枝番選局	枝番の付いた放送を選局します。
信号切換	映像、音声、二重音声、字幕、字幕言語などを切り換えます。
データ放送表示切	データ放送の表示を切ります。

故障かなと思ったら

■ 修理を依頼される前にお調べください

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本製品では、ゲーム機からの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。
あらかじめご了承ください。

このようなときは		ここをお確かめください
電源	電源がはいらない	●電源プラグが抜けていませんか。 ·電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●「電源」ランプが消灯していませんか。 ※「電源」ランプが消灯しているときは、リモコンで電源を入れることはできません。 ●「電源」ランプが赤色に点滅していませんか。 ·電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでください。
	急に電源が切れた	●オフタイマーが設定されていませんか。 ·オフタイマーを無効にしてください。
リモコン	リモコンで操作ができない	●リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。 ·障害物を取り除いてください。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ·新しい乾電池に交換してください。 ●リモコンの乾電池の向き(+、ー)が合っていますか。 ·向き(+、ー)を確認し、正しく入れてください。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか。 ·正しく受光部に向けて操作してください。(P7参照) ●テレビとリモコンの距離が近すぎませんか。 ·製品に近すぎるとリモコンの反応が悪くなります。
テレビを見ているとき	映像、音声が出ない	●アンテナ線が外れていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。 ·アンテナ線を確認して正しく接続してください。 ●アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。 ·確認して、まっすぐにしてください。(折らないようにご注意ください) ●アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。 ·アンテナ線を交換してください。 ●レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。 ·アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本製品の故障ではありません。 ●電波が弱くありませんか。 ·アンテナレベルを確認してアンテナの向きを調整してください。 ●アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、接触不良になっていませんか。 ·確認して、しっかりと接続してください。 ●アンテナ線、端子がさびていませんか。 ·さびを取り除いてください。 ※とれないときは、アンテナ線を交換する、本体側のときは販売店またはサポートセンターにご相談ください。 ●接続されていない入力先に切り換えられていませんか。 ·【入力切換】ボタンで確認してください。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか。 ·ヘッドホン端子を確認してください。 ●画面左下に「🔇」マークは付いていませんか。 ·「消音」になっています。リモコンの【消音】ボタンを押すか、【音量】ボタンを押してください。
	接続機器の映像が出ない	●機器が正しく接続されていますか。 ·接続を確認してください。正しく接続してください。 ●機器の電源が入っていますか。 ·機器の電源を入れてください。

■県外に引越しをしたら
引越し後「初期スキャン」または「再スキャン」をしてください。

故障かなと思ったら

このようなときは		ここをお確かめください
テレビを見ているとき	映像の色が悪い	●部屋の明るさに合った適切な設定、調整になっていますか。 ·「映像設定」で適切な設定、調整をしてください。
	BS·110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる	●アンテナ接続に分配器を使用していますか。 ·分配器は「全端子通電型」のものを使用します。 ●有料放送ではありませんか。 ·有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ●壁のアンテナ端子が一つだけになっていませんか。 ·アンテナ線を本機のBS·110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。 BS·110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS·110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続してください。
	番組表に内容が表示されない	●電源プラグを抜いていませんでしたか。 ·電源プラグをコンセントに差し込みます。 「番組表を更新する（P27 参照）」の操作をしてください。
	放送局のすべてのチャンネルが表示されない	●「選局対象」を「設定チャンネル」または「テ レビのみ」に設定していませんか。 ·「選局対象」を「すべて」に設定してください。（P24 参照）
	USBハードディスクが使用できない（認識されない）	●本製品の仕様に合ったUSBハードディスクですか。 ·本製品で使用できるUSBハードディスクは160GB～4TBまでです。 確認をしてください。 ●USBハードディスクが登録されていますか。 ·USBハードディスクを登録してください。（P16 参照） ●USBハードディスクの残量が足りていますか。 ·残量を確認してください。（P16 参照） ※不要な番組を削除してください。 ●コピー禁止の番組ではありませんか。 ·録画はできません。
	録画した番組が消えた	●録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。 ·録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かないでください。 ※録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。
	テレビで再生できない	●本製品で録画したUSBハードディスクですか。 ·他のテレビ等（本製品と同じ型名のテレビを含む）で録画したUSBハードディスクは再生できません。 また、本製品で録画したUSBハードディスクは他の製品（本製品と同じ型名のテレビを含む）、パソコン等で再生することはできません。
	デジタル放送が映らない	●mini B-CASカードは正しく挿入されていますか。 •mini B-CASカードを正しく挿入してください。（向きを確認し、奥までしっかり挿入してください） •mini B-CASカードの金属部分が接触不良（ほこり、ちり、結露、サビ）の場合は何度か挿入しなおすと視聴できるようになる場合があります。または、きれいな乾いた布で金属部分のよごれを拭き取ります。mini B-CASカードが折れたり、傷ついたり、曲げたり、欠けたりすると仕様できなくなりますのでご丁寧に扱ってください。

■ 液晶パネルの特徴について

・液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており 99. 99% 以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（ 画素欠け ）や周囲と異なる色が点灯したままの点（ 輝点 ）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。

・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像 (画面焼けのような症状) が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。 ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

memo

memo

製品仕様

商品名		39V型地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンLED液晶テレビ 外付けUSBハードディスク録画対応
型名		AS-TV39-300
電源入力		AC100V～ 50/60Hz
消費電力(待機時)		55W(0.5W)
年間消費電力量		76kWh/年
外形寸法		本　体　の　み：W889×D80×H514mm セパレートスタンド付：W889×D225×H557mm
質量		本　体　の　み：約5.9kg セパレートスタンド付：約6.1kg
液晶パネル	画面サイズ	39V型
	画素数	1366×768
	輝度(最大値)	230cd/㎡
	視野角	上下：約178°　　左右：約178°
	応答速度	7ms
	コントラスト比(標準値)	3000：1
スピーカー		12W(6W＋6W)
受信チャンネル		地上デジタル：UHF（13-62）　BSデジタル：000ch-999ch 110度CSデジタル：000ch-999ch　パススルー方式対応(C13-C63)
接続端子	アンテナ入力	地上デジタル放送用アンテナ端子× 1、BS/CSデジタル放送用アンテナ端子× 1
	映像入力	RCA端子x1、HDMI端子x2
	音声入力	RCA端子x 2（ステレオ）
	音声出力	ヘッドホン端子x1
	LAN端子	x1
	USB端子	x1(録画用)
HDD録画	対応容量	160GB～4TB
	録画番組数	1番組
	録画予約数	64番組
電源コード		約1.6m
番組表		8日間　6時間x7チャンネル
主要材質		PS樹脂
使用環境		周囲温度：5-35℃、周囲湿度：20-80%RH（結露なきこと）
付属品		スタンド(セパレートタイプ)×2、スタンド取り付け用ネジ×4、リモコン、リモコン用乾電池(単4形)×2、 miniB-CASカード、miniB-CASカードカバー、miniB-CASカードカバー取り付けネジ、取扱説明書、 クイックガイド、保証書

※本製品は日本国内専用です。

※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。

※本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※アンテナケーブルは付属しておりません。

※CATV（ケーブルテレビ）を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。

※付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。リモコンを使用する場合には、新しい乾電池を別途ご用意ください。

※ 本製品はデータ放送に対応しております。LANが搭載されていますので、双方向番組サービス、番組連動データ放送はご利用できます。

※本製品へ接続可能なケーブルであっても、外部機器との相性により接続して使用することが難しい場合があります。
外部機器の取扱説明書をお読みいただき、それぞれのサポートセンターまでお問い合わせください。

※本製品は専用のスタンドで設置するよう設計されていますが、背面に部品取り付け穴があり、他社販売の壁掛け金具やアーム等を接続することが可能です。
これら設置の際は取り付け部品の仕様、壁面・土台部分の仕上げや施工状態によっては落下等による破損や不具合の危険もございます。
専門業者に施工をご依頼いただくことを推奨すると共に、専用スタンド以外を使った設置により生じた製品の不具合や破損、落下や製品以外の器物破損等の事故については保証できかねます旨ご了承ください。

免責事項について

・地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。

・取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化･消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。

・故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、弊社は一切の責任を負いません。

アフターサービス

■ 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。

■ 万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください。（有料）

■ 高温に対するご注意

特に夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

■ 保証書

本製品には保証書が付いています。

保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間はお買上げ日より1年間です。

■ 修理を依頼する時

※ 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

※ 保証期間が過ぎている時は

弊社またはお買上げの販売店にご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社またはお買上げの販売店にお問い合わせください。

お客様相談窓口

お電話でのご相談

03-3573-0703

受付時間 10:00～17:00(月～金)
※弊社営業日(土日祝日を除く)

お問い合わせフォーム

https://a-stage.force.com/astage/s/

株式会社A-Stage

[本　　社] 〒105-0004 東京都港区新橋1丁目9番5号 KDX新橋駅前ビル 3F

[商品管理センター] 〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-8-1 船橋西浦物流A棟 2F